

消防年報

令和8年版



佐賀広域消防局

ま え が き

佐賀広域消防局では、住民の生命、身体及び財産を守り、住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるため、消防団はもとより、関係市町や関係機関との緊密な連携の強化を図っています。

また、複雑多様化する災害に的確かつ効率的に対応できる消防体制の検討や職員の資質向上、消防施設、車両などの整備を図り、消防業務を進めています。

この消防年報は、住民の方や消防関係者をはじめ、多くの方々に佐賀広域消防局の現勢と消防に関する各種資料を紹介することを目的として編集しています。より多くの方々にご活用いただければ幸いに存じます。

消防年報資料は原則として暦年で記載し、これによらないものについてはそれぞれの年月日及び期間にて作成いたしました。

令和8年7月

佐賀広域消防局

※管内合併の状況

- ・平成12年4月1日：佐賀市消防本部、多久市消防本部、佐賀郡消防事務組合消防本部及び小城地区消防事務組合消防本部が合併
- ・平成25年4月1日：佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部が合併

2026年度 全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

2026年度 危険物安全週間推進標語

つかみ取れ！めざす無事故の頂を

令和8年版消防年報もくじ

概 要

○ 消防局の管内一目統計	————	3
○ 地 勢、気 象	————	4
○ 位置図	————	5
○ 構成市町の紹介	————	6
○ 佐賀広域消防局管内の人口等推移	————	8
○ 消防庁舎の現況	————	9
○ 消防車両一覧表	————	14
○ 佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要	————	15
○ 各種協定の状況	————	17

総 務

I 組織	————	21
○ 佐賀中部広域連合機構		
○ 佐賀広域消防局組織図		
II 財政	————	23
○ 消防費当初予算、令和8年度消防費予算に対する住民の負担状況		
III 人事	————	24
○ 職員配置状況		
○ 年齢別職員数		
○ 勤続年数別職員数		
○ 職員の特殊技能・資格取得状況		
IV 消防音楽隊	————	30
○ 消防音楽隊		
V 消防団	————	31
○ 消防団の概要、消防団現勢		
○ 年齢別消防団員数		
○ 消防団組織図		

予 防

I 防火対象物	————	39
○ 建築物申請処理状況		
○ 用途別防火対象物使用開始届出状況		
○ 防火対象物数		
○ 中高層建築物（4階以上）		
II 危険物施設	————	43
○ 数量別危険物施設数、危険物施設数		
III 防火クラブ	————	44
○ 幼少年女性防火委員会、幼年・少年消防クラブ、女性防火クラブ		
IV 防災学習広場	————	45
○ 防災学習広場の概要		

警 防

I 警防	49
○ 緊急消防援助隊の紹介	
○ 消防水利の状況	
II 救急	53
○ 応急手当普及啓発活動実施状況	
○ 救マーク制度、救急資器材保有状況	
III 救助	56
○ 救助資器材保有状況	
○ 国際消防救助隊の紹介	

通 信

I 通信	63
○ 指令管制業務の概要	
○ 指令管制システムの構成図	
○ デジタル無線設備システム系統図	
○ 無線局配置	

統計（災害出動状況）

I 火災	69
○ 火災の種別、令和7年中の火災概要	
○ 火災発生状況	
○ 月別用途別火災発生状況	
○ 月別原因別火災発生状況	
○ 過去3年間の火災発生状況	
○ 過去3年間の火災原因	
II 救急	75
○ 救急事故の種別、令和7年中の救急出動概要	
○ 事故種別救急出場件数・搬送人員	
○ 月別救急出場件数・搬送人員	
○ 年齢別搬送人員	
○ 曜日別救急出場件数	
○ 過去3年間の救急出場件数	
III 救助	81
○ 救助事故の種別、令和7年中の救助出動概要	
○ 市町別事故種別救助出動件数・救助人員	
○ 過去3年間の事故種別救助出場件数	
IV 警戒	84
○ 警戒出動の種別、令和7年中の警戒出動概要、事故種別警戒出動状況	
V 通信	85
○ 119番受信状況	
○ 消防指令センターによる口頭指導件数・口頭指導奏功事例	

○概要



消防局の管内一目統計

令和8年4月1日現在（火災・救急、救助・通信は令和7年中）

面積・人口・世帯	面積	人 口	人口密度	世 帯 数
	793.30 k m ² 佐賀市 431.81 k m ² 多久市 96.56 k m ² 小城市 95.81 k m ² 神崎市 125.13 k m ² 吉野ヶ里町 43.99 k m ²	330,231人 佐賀市 224,390 人 多久市 17,287 人 小城市 42,659 人 神崎市 29,772 人 吉野ヶ里町 16,123 人	416人 / k m ²	149,816世帯 佐賀市 105,589 世帯 多久市 7,645 世帯 小城市 16,984 世帯 神崎市 12,643 世帯 吉野ヶ里町 6,955 世帯
予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職 員 数	消防団員数
	61億9318万円 住民1人当り 18,754円 1世帯当り 41,339円	消 防 局 1 消 防 署 6 分 署 3 出 張 所 5	定数 450 人 実員 433 人 (定数外職員32人除く)	定員 6,269 人 実員 5,296 人 (内女性団員144人)
機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救 急 車	水 利
	ポンプ車 16台 (救助ポンプ車4台含む) タンク車 10台	はしご車 3台 救助工作車 3台 化学車 3台 災害支援車 2台 水難救助車 1台	高規格救急車 20台 (非常用救急自動車含む)	消火栓 4,596基 防火水槽 1,058基
火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	105件 3.4日に1件の割合で発生	① たき火 14件 ② たばこ 8件 ② こんろ 7件 ④ 火入れ 6件	18,938件 1日あたり51.8件の割合で発生	① 急病 11,189件 ② 一般負傷 2,744件 ③ 転院搬送 2,545件 ④ 交通事故 1,204件
救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	418件 1日に1.1件の割合で発生	① その他の事故 275件 ② 交通事故 92件 ③ 建物等による事故 24件 ④ 建物火災 16件	30,558件 1日当り83.7件 (問合わせ、試験等含む)	火災 204 件 救急 16,721 件 救助 300 件 警戒 1,793 件
予 防	防火対象物	中高層建築物（4階以上）	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象 13,974件	4階～9階 981 件 10階以上 117 件	製造所 9 件 貯蔵所 671 件 取扱所 345 件	幼年消防クラブ 73クラブ 3,885 人 少年消防クラブ 3クラブ 190 人 女性防火クラブ 1クラブ 7 人

地 勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ8万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約15種類も生息しています。

当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の4市1町で構成されており、その管内面積793.3k㎡のうち、北部の山間部が約41%、西部の盆地が約11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

気 象

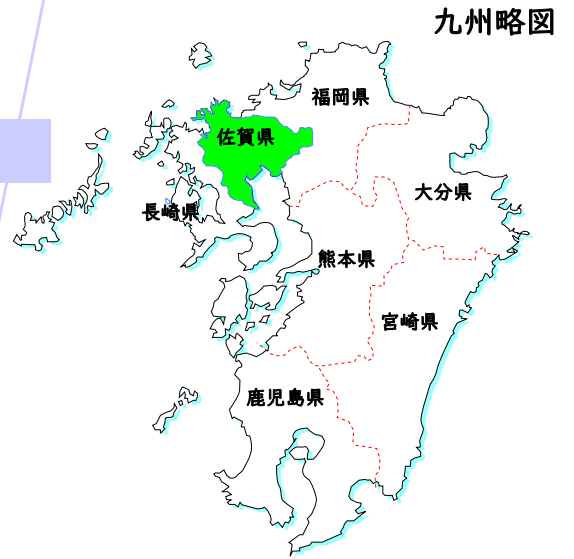
令和7年中の最高気温は8月で38.1度、最低気温は1月で-2.4度を記録し、9月に入っても猛暑日が続きました。

近年では大雨や異常高温などの気象となることがありますが、年間の平均気温は18度、平均湿度は70.5%と、一年を通じて温暖湿潤な気候で、農業や稲作に適し、四季の変化が明確で温和な気候です。

位置図



佐賀中部広域連合




佐賀広域消防局管内図

構成市町の紹介

佐賀市


SagaCity



市の木
いちよう


市の花
さくら

人口：224,390人
面積：431.81km²




佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穡の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、国際バルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉、個性的な動植物が生息する干潟など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。



有明海



三重津海軍所跡の木製護岸

多久市

TakuCity



市の木
かえて

市の花
うめ

人口：17,287人
面積：96.56km²



多久聖廟（国重要文化財）

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原庫舎（藩校を復元した研修施設）、四季を楽しめる西溪公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。



西溪公園

小城市

OgiCity



市の木
さくら

市の花
さくら

人口：42,659人
面積：95.81km²



江里山棚田の彼岸花

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。



小城公園の桜

構成市町の紹介

神崎市

KanzakiCity



市の木
もみじ

市の花
さくら



国の名勝 九年庵

人口：29,772人
面積：125.13km²

神崎は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神崎郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神崎宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。



神崎市マスコットキャラクター
くねんワン・くねんニャン

吉野ヶ里町

YoshinogariTown



町の木
さざんか

町の花
さくら



吉野ヶ里歴史公園

吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のあふれる町です。

また、サザンカ自生北限地（国天然記念物）であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。



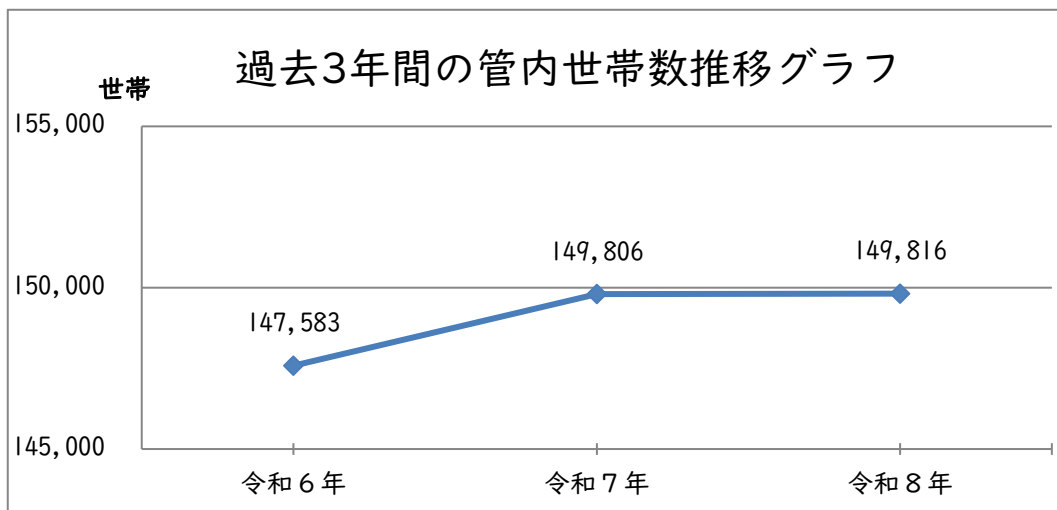
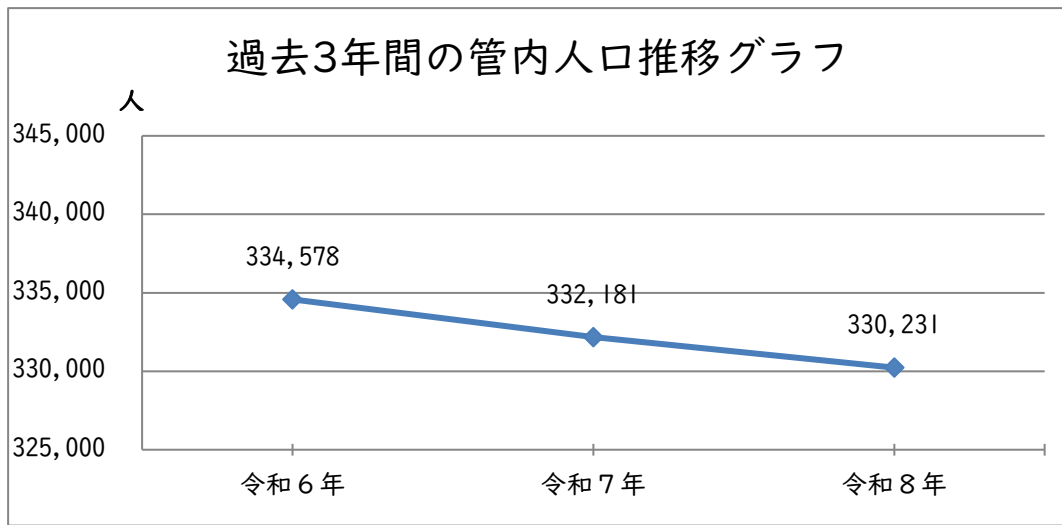
霊仙寺跡から望む茶畑の景色

人口：16,123人
面積：43.99km²

佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和8年4月1日現在

令和8年					
市	人口(人)	世帯	面積(k㎡)	人口比率	面積比率
佐賀市	224,390	105,589	431.81	67.95%	54.43%
多久市	17,287	7,645	96.56	5.23%	12.17%
小城市	42,659	16,984	95.81	12.92%	12.08%
神埼市	29,772	12,643	125.13	9.02%	15.77%
吉野ヶ里町	16,123	6,955	43.99	4.88%	5.55%
合計	330,231	149,816	793.30	100.0%	100.0%



消防庁舎の現況

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真	
消防局	庁舎	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12㎡	6,961.58㎡ 1F 2,167.15㎡ 2F 1,999.39㎡ 3F 1,617.54㎡ 4F 1,135.46㎡ PH 42.04㎡	R3.1	   	
	訓練塔A棟	鉄筋コンクリート造 地上5階		229.30㎡			R2.6
	訓練塔B棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		106.33㎡			R2.6
	訓練塔C棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		401.96㎡			R2.6
	車庫	鉄骨造 平屋建		254.36㎡			R3.12
	その他	4棟		51.25㎡			R3.1 R3.3 R4.3
西分署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,315.78㎡	540.65㎡ 1F 359.15㎡ 2F 181.50㎡	S58.3		
	その他	1棟		9.28㎡			
東分署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,827.57㎡	503.81㎡ 1F 361.20㎡ 2F 142.61㎡	H18.3		
	その他	1棟		10.35㎡			

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
多 久 消 防 署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,676.51 m ²	1,006.34 m ² 1F 550.23 m ² 2F 456.11 m ²	H6.3	  
	車庫	鉄骨造 2階建		450.90 m ²	H6.3	
	A訓練塔	鉄筋コンクリート造 5階建		174.00 m ²	H6.3	
	B訓練塔	鉄筋コンクリート造 2階建		80.00 m ²	H6.3	
	その他	2棟		73.40 m ²	H6.3	
多 久 南 西 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06 m ²	393.14 m ²	R2.6	
	その他	1棟		4.41 m ²	R2.9	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
南 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,624.89㎡	1,678.17㎡ 1F 1,085.37㎡ 2F 592.80㎡	H28.2	 
	訓練塔	鉄骨造 5階建		178.93㎡	S61.12	
	補助塔	鉄骨造 平屋建		19.11㎡	S61.12	
	その他	1棟		8.82㎡	H28.2	
久 保 田 出 張 所	庁舎	鉄骨造 2階建	762.80㎡	349.16㎡ 1F 244.24㎡ 2F 104.92㎡	H20.12	
	その他	1棟		3.24㎡	H20.12	
北 部 消 防 署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,129.84㎡	1,786.26㎡ 1F 1,390.64㎡ 2F 395.62㎡	H25.8	 
	訓練塔	鉄骨造 2階建		36.00㎡	H25.8	
	その他	1棟		8.24㎡	H25.8	
富 士 出 張 所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20㎡	329.67㎡	H17.8	
	その他	1棟		11.96㎡	H17.8	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
小 城 消 防 署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	7,035.67㎡	1,558.49㎡ 1F 996.89㎡ 2F 561.60㎡	H26.7	
	訓練塔1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H6.2 H26.8	
北 分 署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F 426.59㎡ 2F 142.56㎡	H16.3	

		構造	敷地面積	延面積	建築年月	庁舎写真
神埼 消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	 
	A訓練塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B訓練塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
三脊出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
	その他	1棟		4.41㎡	H30.3	
吉野ヶ里出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

消防車両一覧表

令和8年4月1日現在

種 別 所 属 別		ポ	救	タ	化	は	救	水	高	指	災	機	査	指	資	林	連	連	人	燃	特	合
		ン	助	ン	学	し	助	難	規	揮	害	動	察	令	材	野	絡	絡	員	料	殊	計
		プ	ポン	ク	車	ご	工	救	格	隊	支	連	車	車	火	車	(普)	(軽)	輸	補	車	
		車	プ	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車	車
局	総務課																2	1	1			4
	警防課									1		1						1	1			4
	予防課												1					1		1		3
	小計									1		1	1				2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	2		2		2	2		4	1			1		1		1	2	1		2	21
	西分署	1		1					1									1				4
	東分署	1		1					1									1				4
	小計	4		4		2	2		6	1			1		1		1	4	1		2	29
多久消防署	署	1		2		1			1					1	1		1		1			9
	南西出張所		1						1									1				3
	小計	1	1	2		1			2					1	1		1	1	1			12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1			1	1			9
	久保田出張所	1							1									1				3
	小計	2	1		1				2		1			1	1			2	1			12
北部消防署	署		1	1	1			1	2					1	1			1	1			10
	富士出張所	1							1									1				3
	小計	1	1	1	1			1	3					1	1			2	1			13
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1			1	1			10
	北分署	1		1					1									1				4
	小計	2		2			1		3		1			1	1			2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1				2					1	1	1	1		1		1	11
	三脊出張所	1							1									1				3
	吉野ヶ里出張所			1					1									1				3
	小計	2	1	1	1				4					1	1	1	1	2	1		1	17
合 計		12	4	10	3	3	3	1	20	2	2	1	2	5	6	1	5	16	8	1	3	108

※ 特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。



重機



重機搬送車



消防ポンプ自動車CD-I型

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年 5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年 11月	多久市消防本部を設置
昭和44年 11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年 11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年 3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年 4月	佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局を発足 職員定数を343人とする 消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く 5署1分署5出張所（旧消防本部の署所を引継ぐ）を置く 通信指令装置の運用開始
平成15年 3月	佐賀地区広域市町村圏組合を解散
平成15年 4月	佐賀中部広域連合佐賀広域消防局を発足
平成16年 3月	小城消防署北分署を新設 5署2分署5出張所となる
平成17年 8月	北部消防署富士出張所を新築移転
平成18年 3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設 5署3分署3出張所となる
4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
5月	佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用 による対応を図る（定数外処理）
平成19年 4月	女性消防吏員を初採用
平成20年 4月	再任用制度を導入（5人再任用）
12月	南部消防署久保田出張所を改築
平成21年 1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置 小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年 4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される（6名） 位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年 4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年 1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年 1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部 の合併が許可される
平成25年 3月	神埼地区消防事務組合を解散
4月	神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる 職員定数を425名とする

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

平成25年	8月	北部消防署を新築移転
平成26年	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
	7月	小城消防署を改築
平成27年	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所を新設 6署3分署5出張所となる
平成28年	2月	南部消防署を改築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所を新築移転
令和 2年	10月	多久消防署多久南西出張所を新設 6署3分署6出張所となる
令和 3年	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署を新築し、新佐賀広域消防局・佐賀消防署を運用開始
	4月	組織機構の改編に伴い、消防局「消防課」を「警防課」に、消防局「通信指令課」を「情報指令課」に、各消防署「警防1課及び警防2課」を「消防1課及び消防2課」に改める
		高機能消防指令センターの運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始
	10月	救急出動体制強化等を図るため、佐賀消防署中央出張所の機能を佐賀消防署に移転統合し、中央出張所を廃止 6署3分署5出張所となる
令和 6年	4月	定年引き上げに伴い、職員定数を450人とする
		組織機構の改編に伴い、佐賀消防署「救急課」を「救急1課及び救急2課」に、佐賀消防署を除く各消防署「庶務1課及び庶務2課」と「予防指導1課及び予防指導2課」を統合し、「消防1課及び消防2課」に改める
令和 7年	4月	組織機構の改編に伴い、佐賀消防署を除く消防署に「庶務係」、「救急係」を設置する

各種協定の状況

[相互応援関係]

令和 8 年 4 月 1 日現在

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25 年 4 月 1 日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備 消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部 (5 本部)	平成 26 年 7 月 2 日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合	平成 25 年 9 月 1 日
	鳥栖・三養基地区消防事務組合	
	春日・大野城・那珂川消防組合	
福岡市との常備消防相互応援協定 (東脊振) (火災・救急・救助・その他災害)	福岡市消防局	平成 2 年 4 月 1 日
福岡市との常備消防相互応援協定 (三瀬) (火災・救急・救助・その他災害)		昭和 61 年 7 月 24 日

[高速道路関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する 覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21 年 4 月 1 日
高速自動車道における消防の相互応援に 関する協定	佐世保市	平成 12 年 4 月 1 日
	県央地域広域市町村圏組合	
	杵藤地区広域市町村圏組合	

[空港関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 柳川市	平成 20 年 1 月 1 日
佐賀空港及びその周辺における消火救難 活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20 年 1 月 1 日

[無線関係]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する 協定等	佐賀市 (諸富町・大和町・富士町・ 川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12 年 4 月 1 日
	多久市	平成 22 年 2 月 1 日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25 年 4 月 1 日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び 運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12 年 4 月 1 日

[その他]

協 定 書 等 種 別	協 定 先	締 結 年 月 日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する市の 消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場合又は 同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の経費の 負担に関する協定	佐賀県	平成 25 年 2 月 20 日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20 年 4 月 1 日
	多久市	平成 12 年 4 月 1 日
	神埼市	平成 31 年 4 月 1 日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動に おける食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28 年 10 月 28 日
災害時における消防用水等の供給支援に 関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29 年 12 月 26 日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る 協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2 年 3 月 10 日
	吉野ヶ里町	令和 2 年 3 月 16 日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3 年 3 月 22 日
陸上自衛隊佐賀駐屯地及びその周辺における 消火救難活動に関する協定	陸上自衛隊佐賀駐屯地	令和 7 年 7 月 9 日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。

また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。

○ 総務



I 組織

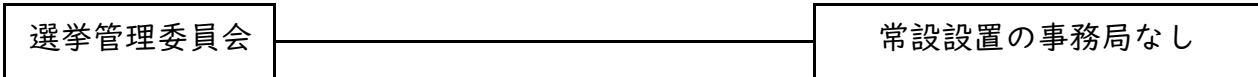
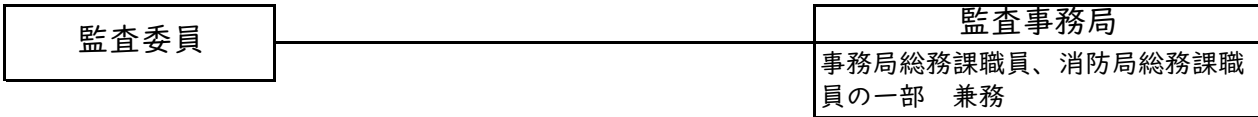
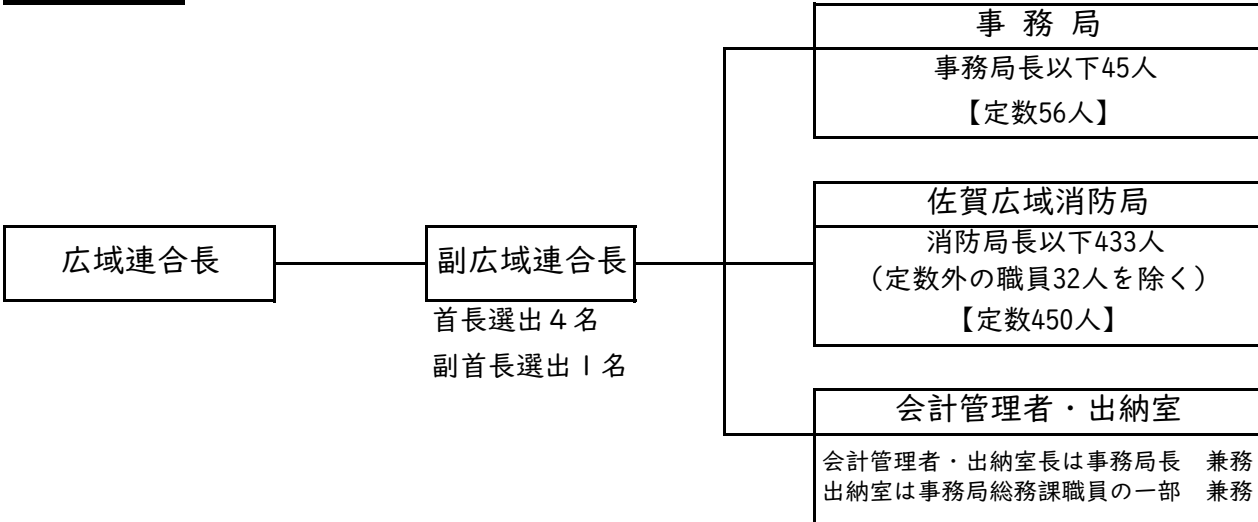
佐賀中部広域連合機構

令和8年6月1日現在

議会



執行機関

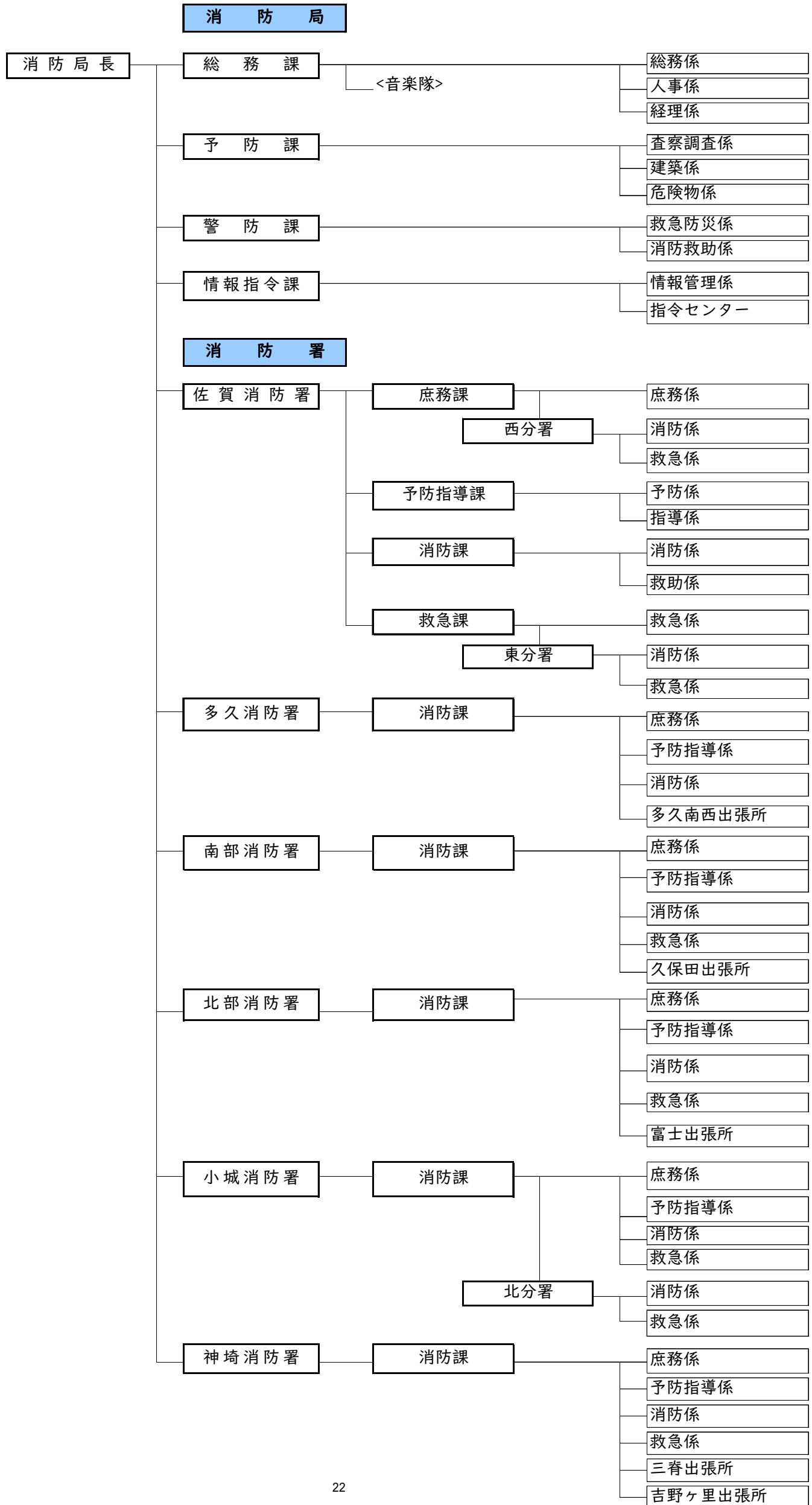


役職

広域連合長	坂井 英隆	佐賀市長	議長	山田 誠一郎	佐賀市
副広域連合長	香月 正則	多久市長			
	南里 隆	小城市長	副議長	古賀 公彦	多久市
	實松 尊徳	神埼市長			
	伊東 健吾	吉野ヶ里町長	監査委員	大島 竜二	識 見
	坂井 元	佐賀市副市長			

佐賀広域消防局組織図

令和8年4月1日現在



II 財政

消防費当初予算

(単位：千円)

歳入	令和8年度		令和7年度		前年度比
	予算	割合	予算	割合	
分担金及び負担金	5,164,653	83.39%	5,077,056	91.64%	1.72%
使用料及び手数料	4,632	0.07%	4,632	0.08%	0.00%
県支出金	0	0.00%	0	0.00%	-%
財産収入	2,690	0.04%	460	0.01%	484.78%
繰入金	104,000	1.68%	28,000	0.51%	271.42%
繰越金	10	0.00%	10	0.00%	0.00%
諸収入	82,297	1.33%	76,113	1.37%	8.12%
広域連合債	834,900	13.48%	353,700	6.38%	136.04%
合計	6,193,182	100.00%	5,539,971	100.00%	11.79%

(△は減)

(単位：千円)

歳出	令和8年度		令和7年度		前年度比
	予算	割合	予算	割合	
常備消防費	4,679,423	75.56%	4,556,955	82.26%	2.68%
消防施設費	1,060,811	17.13%	506,093	9.14%	109.60%
公債費	432,948	6.99%	456,923	8.25%	△5.24%
予備費	20,000	0.32%	20,000	0.36%	0.00%
合計	6,193,182	100.00%	5,539,971	100.00%	11.79%

令和8年度消防費予算に対する住民の負担状況

令和8年4月1日現在

予算(円)	人口(人)	世帯(世帯)	1人当り額(円)	1世帯当り額(円)
6,193,182,000	330,231	149,816	18,754	41,339

Ⅲ 人事

職員配置状況

令和8年4月1日現在

階級	配置	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	再任用	計
		監										
消防局	消防局長	1										1
	※1 消防副局長		2									2
	総務課			1								1
	総務係				1	1	1			1		4
	経理係				1	1	1			1		4
	人事係				2		4					6
	総務課付(定数内)						1		1			2
	※2 総務課付(定数外)					3	3	1	16		1	24
	予防課			2								2
	査察調査係				1	1		1				3
	建築係				1	1	1					3
	危険物係				1		1	1				3
	警防課			1								1
	消防救助係				2		1					3
	救急防災係				1	3	2				2	8
	※3 警防課付(定数外)					3	2					5
	情報指令課			2								2
	情報管理係				1	1						2
指令センター(日勤)						1					1	
指令センター(第1)				2	2	2				1	7	
指令センター(第2)				2	3	1				1	7	
指令センター(第3)				2	2	1	1			1	7	
小計		1	2	6	17	21	22	4	17	2	6	98
佐賀消防署	署長		1									1
	副署長			1								1
	庶務課長(1・2)			2						1		3
	副課長(1・2)				4							4
	1課庶務係					1	1	1				3
	2課庶務係						1	1	1			3
	1課西分署消防係						1	2	1	1		5
	2課西分署消防係							1	1	2	1	5
	1課西分署救急係						1	1	1	1		4
	2課西分署救急係						1	2		1		4
	予防指導課長			1								1
	副課長				2							2
	予防係					2						2
	指導係							1			1	2
	消防課長(1・2)			2								2
	副課長(1・2)				4							4
	1課消防係					1	3	3	2			9
	2課消防係						1	3	3	2		9
	1課救助係						2	5	1			8
	2課救助係						2	4	2			8
救急課長(1・2)			2								2	
副課長(1・2)				4							4	
1課救急係					3	1	2	2			8	
2課救急係					3	2	2	1			8	
1課東分署消防係						1	2	1	1		5	
2課東分署消防係						2	1	1	1		5	
1課東分署救急係						1	2		1		4	
2課東分署救急係						1	2		1		4	
小計		0	1	8	14	25	33	22	15	1	1	120

※1 副局長は、総務課長及び警防課長が兼務
 ※2 総務課付(定数外)内訳：・消防庁(士長1人)・佐賀県消防学校(司令補1人,再任用1人)・佐賀市(司令補2人)・初任科(士16人)・育休(士長2人,副士長1人)
 ※3 警防課付(定数外)内訳：佐賀県防災航空隊(司令補2人,士長1人)・好生館(司令補1人,士長1人)

階級	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	再任用	計	
												配置
多 久 消 防 署	署長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				4							4
	1課庶務係					1		1			1	3
	2課庶務係				1		1				1	3
	1課予防指導係					1		1	1			3
	2課予防指導係					2	1					3
	1課消防係					1	2	2				5
	2課消防係					1	1	3				5
	1課多久南西出張所					2	1	2				5
	2課多久南西出張所					1	2	1	1			5
小計	0	0	3	5	9	8	10	2	0	2	39	
南 部 消 防 署	署長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				4							4
	1課庶務係				1			1	1		1	4
	2課庶務係						1	1		1		4
	1課予防指導係					2		2				4
	2課予防指導係					2	1	1				4
	1課消防係					1	2					3
	2課消防係					1	2					3
	1課救急係					1	2		1			4
	2課救急係					1	2	1				4
1課久保田出張所					1	2	1	1			5	
2課久保田出張所					1	2	1	1			5	
小計	0	0	3	5	11	14	7	5	0	2	47	
北 部 消 防 署	署長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				4							4
	1課庶務係					2		2				4
	2課庶務係					1	1	1			1	4
	1課予防指導係					1		2			1	4
	2課予防指導係					2	1		1			4
	1課消防係					1		2				3
	2課消防係					1	1	1				3
	1課救急係				1	1		1	1			4
	2課救急係				1	1		1	1			4
1課富士出張所					1	2	2				5	
2課富士出張所					1	3		1			5	
小計	0	0	3	6	12	8	12	4	0	2	47	

階 級 配 置		正	監	司	司	司	士	副	士	事	再	計
		監		令	令	令	長	士	士	務	任	
		監		長	令	補	長	長		吏	用	
小 城 消 防 署	署 長			1								1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				6							6
	1 課 庶 務 係					1	1	1			1	4
	2 課 庶 務 係					1	2				1	4
	1 課 予 防 指 導 係					1	2	1				4
	2 課 予 防 指 導 係					1	2	1				4
	1 課 消 防 係				1		2					3
	2 課 消 防 係					1	2					3
	1 課 救 急 係					1	1	2				4
	2 課 救 急 係					1	2		1			4
	1課北分署消防係					1	1	3				5
	2課北分署消防係						2	1	2			5
	1課北分署救急係					1	2	1				4
	2課北分署救急係					1	1	2				4
小 計		0	0	3	7	12	19	13	1	0	2	57
神 埼 消 防 署	署 長		1									1
	副署長（消防課長1・2）			2								2
	副課長（1・2）				4							4
	1 課 庶 務 係					1		2			1	4
	2 課 庶 務 係					1	1	1			1	4
	1 課 予 防 指 導 係					1	1	1	1			4
	2 課 予 防 指 導 係					1	1	2				4
	1 課 消 防 係				1		1		1			3
	2 課 消 防 係					1	1	1				3
	1 課 救 急 係					1	2		1			4
	2 課 救 急 係					1	2		1			4
	1 課 三 脊 出 張 所					1	2	1	1			5
	2 課 三 脊 出 張 所						2	1	2			5
	1課吉野ヶ里出張所					1	2	1	1			5
	2課吉野ヶ里出張所					1	2	1	1			5
小 計		0	1	2	5	12	16	12	7	0	2	57
合 計		1	4	28	59	102	120	80	51	3	17	465

年齢別職員数

令和8年4月1日現在

階級 年齢	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	計	人		
	監										10	20	
30歳未満	18							2		2			
	19							5		5			
	20							6		6			
	21							6		6			
	22							10		10			
	23							5		5			
	24							5	9		14		
	25							8	2		10		
	26							4	3		7		
	27							8	1		9		
	28							8			8		
40歳未満	29					1	9	2		12			
	30					7	7			14			
	31					3	7			10			
	32					3	5			8			
	33					8	5			13			
	34						17	2			19		
	35						7	3			10		
	36					2	15	6			23		
	37					7	9	2			18		
	38					5	14	1		1	21		
	39					8	6				14		
50歳未満	40				1	4	5			10			
	41				1	7	9			17			
	42				3	4	4			11			
	43				1	8	2			11			
	44				1	4				5			
	45				2	2	1			5			
	46				5	3				8			
	47				5	5	1			11			
	48				2	2				4			
	49				2	5				7			
	60歳未満	50			2	3	3	3			11		
51				4	9	8	1			22			
52				1	7	1				9			
53				4	5	6				15			
54				2	4		1			7			
55				6	4	4	1			15			
56		1		3	2		1			7			
57			1	5	2	3				12			
58			2	1						1			
59			1							1			
60歳以上		60					6	3			9		
	61					5	1			6			
	62						6			6			
	63						2			2			
	64						6			6			
計	1	4	28	59	102	137	80	51	3	465			
平均年齢	56.0	58.0	54.2	49.9	46.6	40.6	29.7	22.4	51.0	40.3			

※定数外職員35人【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令補4人、士長3人）・佐賀市派遣（司令補2人）・初任科（士16人）・育休（士長2人、副士長1人）】、再任用短時間（6人）

勤続年数別職員数

令和8年4月1日現在

階級 年数	正	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	事務吏員	計	人		
	監										10	20	30
1年未満	1							16		17	-----		
1年								17	1	18	-----		
2年							3	8		11	-----		
3年							1	6		7	-----		
4年						1	7	2		10	-----		
5年							10	1		11	-----		
6年							6			6	-----		
7年						2	7			9	-----		
8年						2	12			14	-----		
9年						2	9	1		12	-----		
10年						4	5			9	-----		
11年						5	2			7	-----		
12年						12	5			17	-----		
13年						14	4			18	-----		
14年					1	19	3			23	-----		
15年					5	8	3			16	-----		
16年					3	12				15	-----		
17年				1	9	11	1			22	-----		
18年					12	12				24	-----		
19年				4	11	5	2			22	-----		
20年				5	4	2				11	-----		
21年				1	1					2	-----		
22年				1	1					2	-----		
23年				2	1					3	-----		
24年					3					3	-----		
25年				2	4	1				7	-----		
26年				5	6					11	-----		
27年				3	3					6	-----		
28年			2	4	1	2			1	10	-----		
29年				1						1	-----		
30年			1	1	3					5	-----		
31年			1	3	5	1				10	-----		
32年			3	3	5	4				15	-----		
33年			7	14	5				1	27	-----		
34年			3	4	2					9	-----		
35年		2	4	4	7	1				18	-----		
36年			1	1	1	1				4	-----		
37年			2		1					3	-----		
38年			1		1	1				3	-----		
39年		1	3		1	3				8	-----		
40年						2				2	-----		
41年		1								1	-----		
42年					4	2				6	-----		
43年					2	5				7	-----		
44年										0	-----		
45年						2				2	-----		
46年						1				1	-----		
計	1	4	28	59	102	137	80	51	3	465	-----		
平均勤続年数	0.0	37.5	34.0	28.4	24.5	16.9	8.4	1.4	20.7	19.1	-----		

※定数外職員35人【消防庁派遣（士長1人）・佐賀県派遣（司令補4人、士長3人）・佐賀市派遣（司令補2人）・初任科（士16人）・育休（士長2人、副士長1人）】、再任用短時間（6名）

職員の特殊技能・資格取得状況

令和8年4月1日現在

資格名		階 級		司令 以上	司令補	士 長	副士長	士	計
車 両	大型自動車（Ⅰ種）			82	84	84	14		264
	大型自動車（Ⅱ種）			2	1	2			5
	中 型 自 動 車			7	38	103	60	2	210
無 線	陸上特殊無線技士(第1級)			11	8	3			22
	陸上特殊無線技士(第2級)			75	53	31	1	3	163
	陸上特殊無線技士(第3級)			13	48	106	79	34	280
救 急	救 急 救 命 士			32	37	46	16	10	141
	気管内挿管資格取得者			7	15	27	5		54
	薬剤投与資格取得者			32	36	43	12	7	130
	救 急 科					3	28	27	58
	救急標準課程			50	70	101	41	1	263
	救急Ⅱ課程			39	27	18			84
	救急Ⅰ課程			44	23	21			88
救 助	玉掛技能士			72	90	122	79	34	397
	クレーン技能士								0
	アーク溶接士			22	14	7			43
	ガス溶接士			50	58	49	2	1	160
	小型船舶操縦士			35	40	38	7	1	121
	潜 水 士			88	101	137	80	37	443
	水上安全法指導員			1	1				2
	酸素欠乏危険作業主任者			89	101	131	80	35	436
建 築 予 防	2 級 建 築 士					1			1
	予 防 技 術 検 定			38	57	73	34	7	209
	電 気 工 事 士			5	3	4	1		13
	消 防 設 備 士 （甲）			5	2	2			9
	消 防 設 備 士 （乙）			11	9	6	1		27
	危 険 物 取 扱 者 （甲）			2	3				5
	危 険 物 取 扱 者 （乙）			17	28	26	8	1	80
	危 険 物 取 扱 者 （丙）			7	11	3			21
	毒 物 劇 物 取 扱 者			2	3				5
そ の 他	衛 生 管 理 者			20		3			23
	特定化学物質作業主任者			24	21	5			50

(1) 概 要

音楽を通じて市民の火災予防思想の普及を図り、併せて消防職員の士気の高揚と情操の育成に資することを目的として、昭和44年5月1日に同好者23名で音楽部を結成した。逐年の活動の結果、各種行事での演奏の機会も多くなり、消防広報を更に効果的なものにするため、昭和48年8月1日に音楽隊の設置規程を制定し、名称も佐賀市消防音楽隊として正式に発足した。昭和57年3月には同規程の一部を改正して、消防団員も音楽隊員に委嘱することができるようにし職団員をもって消防広報に活躍している。平成12年4月1日佐賀広域消防局発足と同時に名称変更が行われ、『佐賀広域消防局消防音楽隊』となった。

平成26年4月からは、消防職団員以外の者も広く音楽隊員に委嘱できるようにした。

現在は、週一回の定期的な合同練習を行い、各種演奏出場に備えている。

(2) 編 成

令和8年4月1日現在

楽 器 名 等	職 員			講 師	一 般 隊 員	人 員 計
	隊長	副隊長	隊 員			
指 揮				1		1
フルート (ピッコロ)					4 (2)	4 (2)
クラリネット (バスクラリネット)			2		4 (2)	6 (2)
アルトサクソフォン テナーサクソフォン バリトンサクソフォン		1	2		4 (3)	7 (3)
トランペット		1			5 (2)	6 (2)
ホルン					4 (1)	4 (1)
トロンボーン			2		4 (1)	6 (1)
ユーフォニウム			1 (1)		2 (2)	3 (3)
チューバ	1		1		2	4
ベース コントラバス			1 (1)			1 (1)
パーカッション			1		3	4
計	1	2	10 (2)	1	32 (13)	46 (15)

()内はうち女性隊員数

(3) 令和7年の主な演奏出場

演奏月	行 事 名
2月	さが農業まつり
3月	佐賀市大和町防火のつどい・佐賀県消防大会
4月	佐賀県消防職員意見発表会・かんざき神幸食フェスタ
6月	佐賀城下栄の国まつり
8月	脊振町わんぱく祭り
9月	さが救急フェスタ
10月	消防学校初任科卒業式・さが防火フェスタ2025・ガス展
	富士町ふれあい祭り・ライトファンタジーパレード・佐賀県消防殉職者慰霊祭
11月	シチメンソウまつり・防火ポスターコンクール表彰式・小学校家庭教育学級
12月	新採職員歓迎ミニコンサート・慰問広報演奏

V 消防団

消防団の概要

令和8年4月1日現在

市 町	団本部所在地	消防団長	団	分団	部	定員	実員
佐賀市	〒840-8501 佐賀市栄町1番1号 佐賀市役所 危機管理防災課 TEL:0952-40-7015 FAX:0952-24-3187	原 田 司	1	47	210	3,500	2,977 (79)
多久市	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍7-1 多久市役所 防災安全課 TEL:0952-75-2181 FAX:0952-75-2110	松 岡 伸 一	1	5	17	350	300 (10)
小城市	〒845-8511 小城市三日月町長神田2312-2 小城市役所 防災対策課 TEL:0952-37-6119 FAX:0952-37-6163	下 村 一 寿	1	12	44	900	688 (13)
神崎市	〒842-8601 神崎市神崎町鶴3542番地1 神崎市役所 総務企画部防災危機管理課 TEL:0952-37-0104 FAX:0952-52-1120	重 松 大 介	1	8	51	1,020	895 (22)
吉野ヶ里町	〒842-8501 吉野ヶ里町吉田321番地2 吉野ヶ里町役場 総務課 TEL:0952-37-0330 FAX:0952-53-6571	眞 木 優	1	9	23	499	436 (20)
合 計			5	81	345	6,269	5,296 (144)

実員のうち () 内は女性団員数

消防団現勢

令和8年4月1日現在

区 市 町	人 員								消 防 機 械				
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計	ポ ン プ 車	ポ ン プ 付 積 載 車	小 型 動 力 積 載 車	小 型 動 力 ポ ン プ	合 計
佐賀市	1	15	54	54	220 (7)	401 (13)	2,232 (59)	2,977 (79)	3	200			203
多久市	1	2	5	10	24 (1)	61 (1)	197 (8)	300 (10)	5	12			17
小城市	1	2	13	15	44 (1)	117 (2)	496 (10)	688 (13)	0	47			47
神崎市	1	3	9	34	52 (1)	160 (3)	636 (18)	895 (22)	1	52			53
吉野ヶ里町	1	3	8	12	22 (1)	76 (4)	314 (15)	436 (20)	6	16			22
合計	5	25	89	125	362 (11)	815 (23)	3,875 (110)	5,296 (144)	15	327			342

実員のうち () 内は女性団員数

年齢別消防団員数

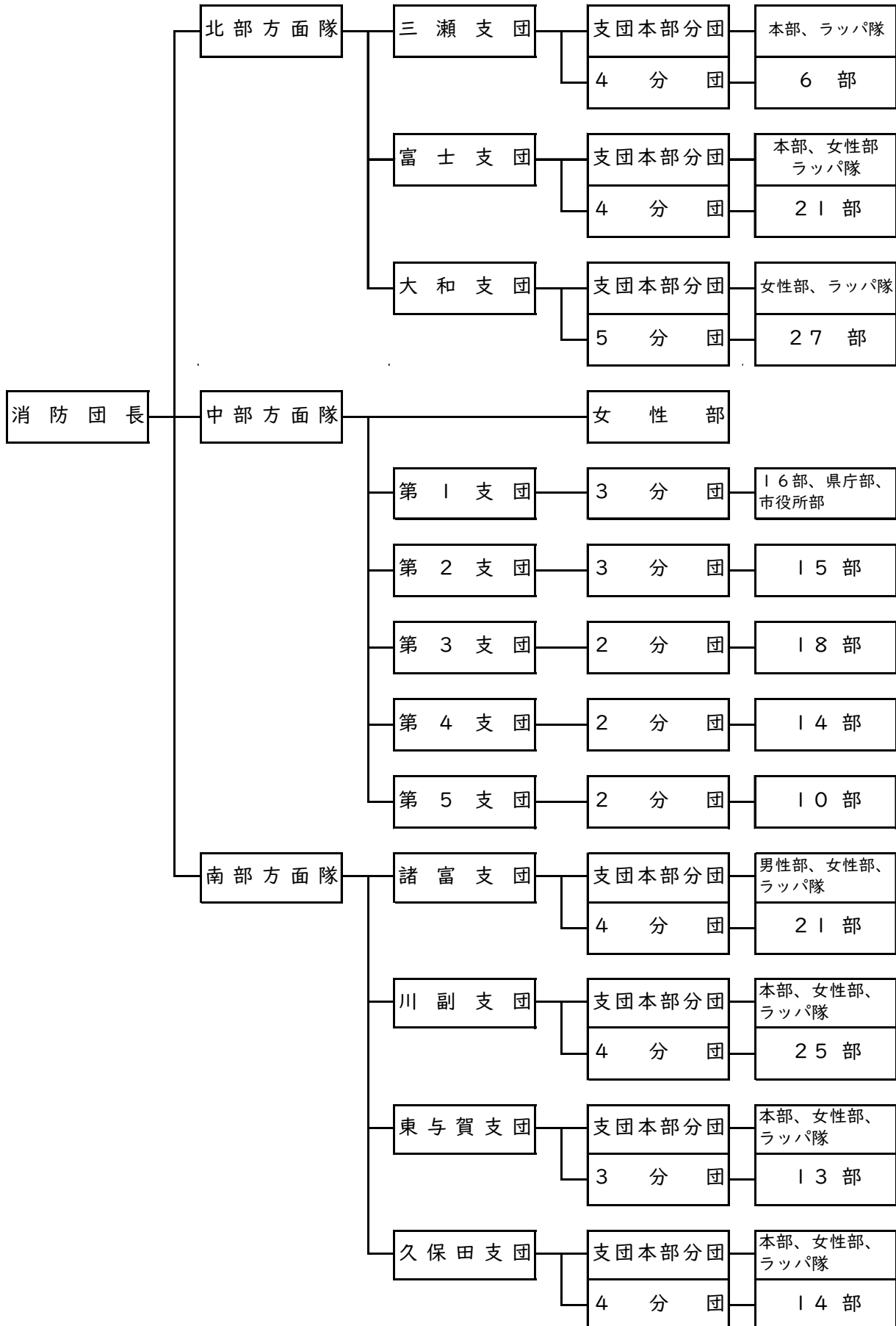
令和8年4月1日現在

年齢	市町						計	人	
	市	町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市			吉野ヶ里町
3 0 歳 未 満	18		2	0	0	1	0	3	
	19		6	1	3	3	0	13	
	20		5	0	1	2	1	9	
	21		7	2	4	5	1	19	
	22		13	1	6	7	3	30	
	23		20	3	7	5	2	37	
	24		23	3	4	2	0	32	
	25		32	6	14	7	2	61	
	26		35	6	13	8	4	66	
	27		34	3	6	10	11	64	
	28		32	12	14	9	2	69	
	29		36	8	8	11	4	67	
4 0 歳 未 満	30		62	6	12	24	7	111	
	31		46	10	27	13	9	105	
	32		53	11	13	16	9	102	
	33		75	15	18	26	7	141	
	34		66	11	22	18	9	126	
	35		92	21	22	25	13	173	
	36		85	15	25	21	12	158	
	37		92	5	17	37	21	172	
	38		95	19	32	36	19	201	
39		106	16	24	36	12	194		
5 0 歳 未 満	40		132	16	45	33	15	241	
	41		126	16	34	45	20	241	
	42		115	7	26	42	15	205	
	43		92	16	23	37	11	179	
	44		121	13	32	42	24	232	
	45		120	12	19	47	12	210	
	46		86	6	27	43	17	179	
	47		106	6	26	35	14	187	
	48		97	5	35	23	11	171	
49		105	7	23	30	16	181		
6 0 歳 未 満	50		103	3	25	37	9	177	
	51		97	2	11	32	11	153	
	52		99	0	17	18	8	142	
	53		91	1	17	25	9	143	
	54		63	2	5	12	9	91	
	55		56	1	7	10	6	80	
	56		54	3	3	15	14	89	
	57		41	2	2	3	9	57	
	58		47	0	7	11	9	74	
59		42	0	3	7	3	55		
6 0 歳 以 上	60		45	0	1	5	4	55	
	61		27	0	1	4	4	36	
	62		23	1	1	2	2	29	
	63		34	1	1	2	3	41	
	64		28	2	0	2	1	33	
	65以上		10	4	5	11	32	62	
計		2,977	300	688	895	436	5296		

消防団組織図

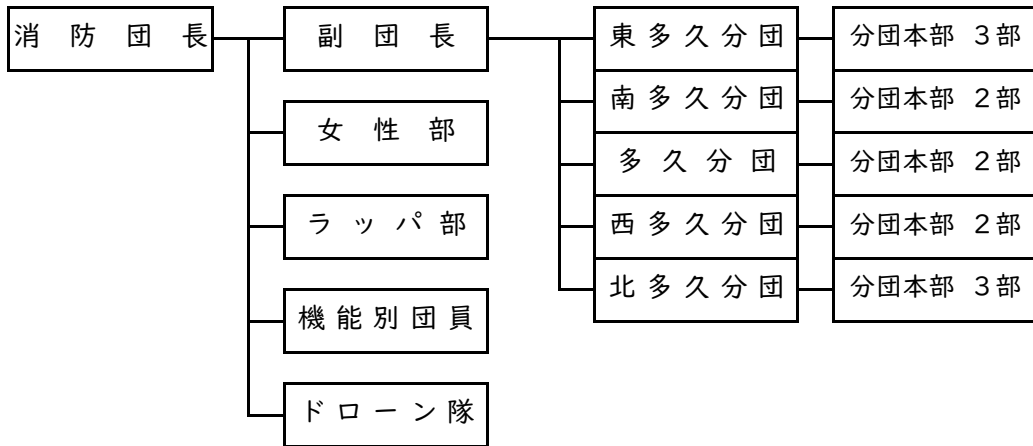
佐賀市消防団組織図

令和8年4月1日現在



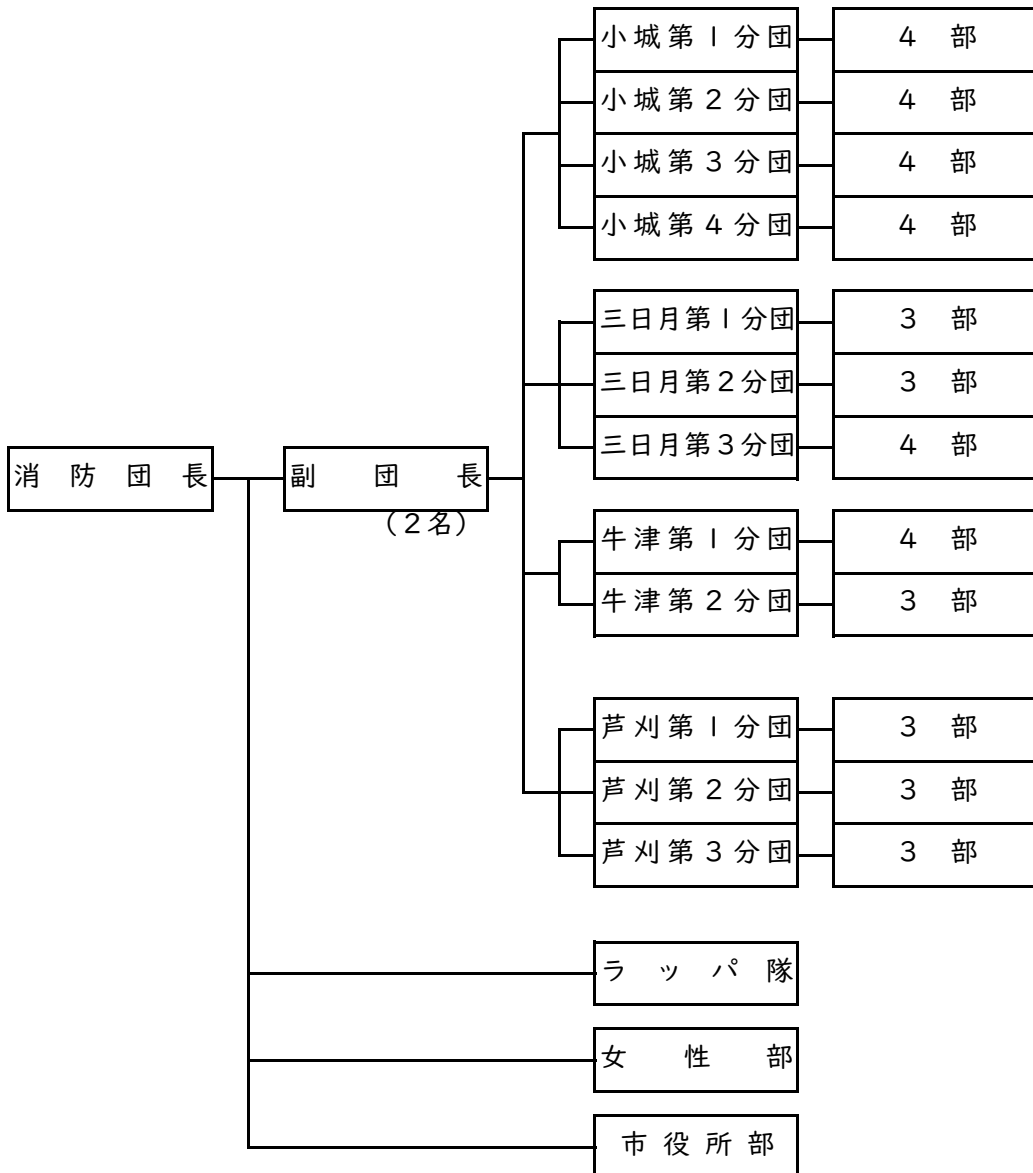
多久市消防団組織図

令和8年4月1日現在



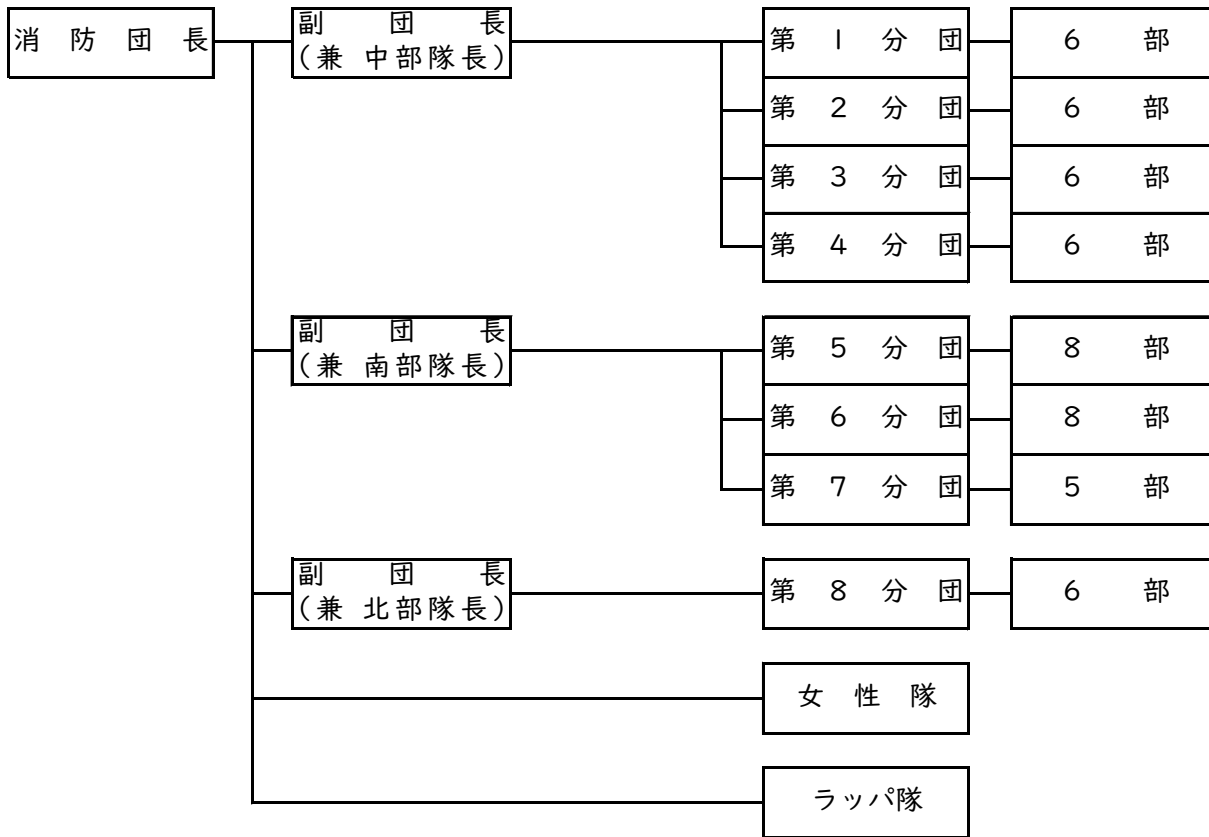
小城市消防団組織図

令和8年4月1日現在



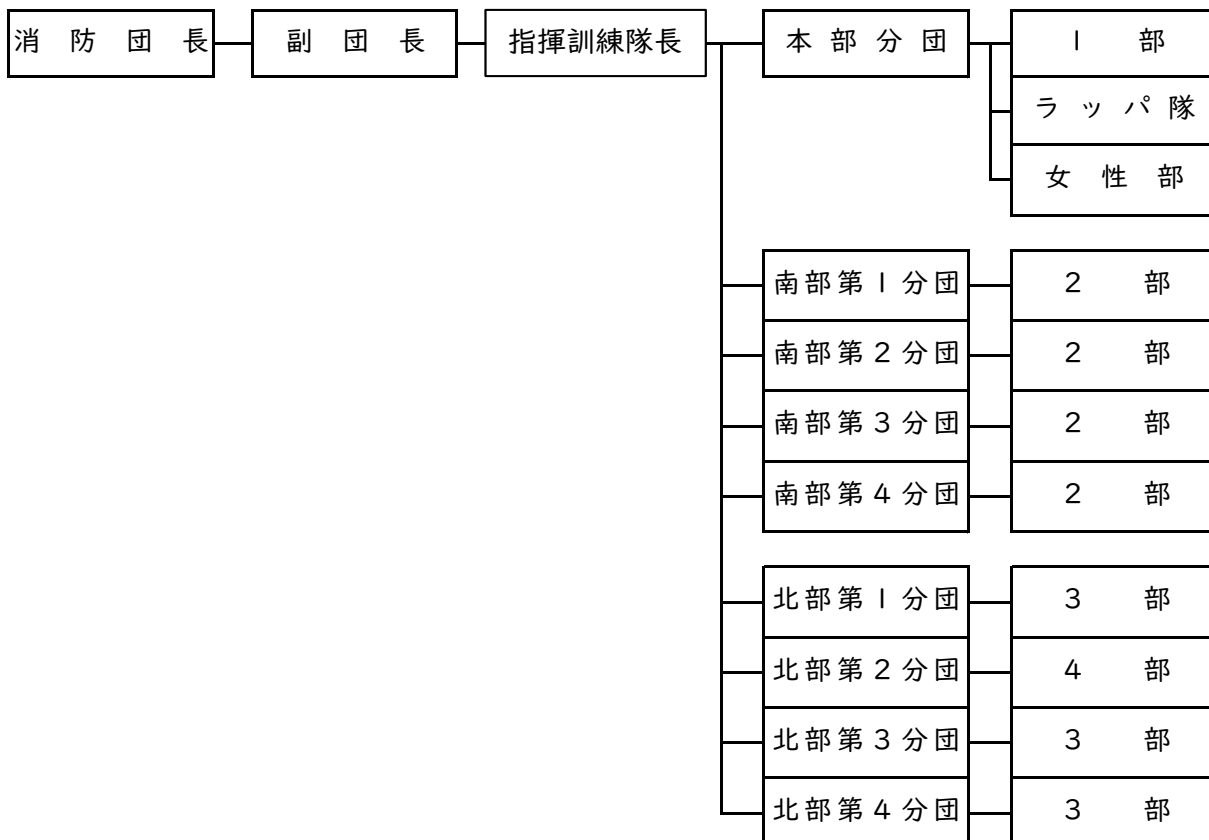
神崎市消防団組織図

令和8年4月1日現在



吉野ヶ里町消防団組織図

令和8年4月1日現在



○ 予 防



I 防火対象物

建築物申請処理状況

令和7年度中

申請		市 町		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
		市	町						
処理 状況	同 意 (指 導 無)			156	12	40	34	34	276
	同 意 (指 導 有)			92	0	0	2	3	97
	許 可 申 請 書			14	0	0	2	4	20
計				262	12	40	38	41	393
内 訳	新 築			163	8	32	31	32	266
	増 築			89	4	8	7	8	116
	改 築			5					5
	増 改 築								
	模 様 替								
	用 途 変 更			3				1	4
	大 修 繕			1					1
	その他工作物			1					1

用途別防火対象物使用開始届出状況

令和7年度中

市 町		佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	計
用	途						
1	イ 劇場・映画館・観覧場等						
	ロ 公会堂・集会場	1					1
2	イ キャハレ・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール					1	1
	ハ 性風俗営業店舗等						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店						
	ロ 飲食店	8		1	1		10
4	百貨店・物品販売業	6	3	3	1		13
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	4				6	10
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	24		2	1		27
6	イ 病院・診療所・助産所	6	1			2	9
	ロ 老人短期入所施設等	2		1	1		4
	ハ 老人デイサービスセンター等	15	2	6	3	2	28
	ニ 幼稚園・特別支援学校						
7	学校・各種学校	1					1
8	図書館・博物館・美術館						
9	イ 蒸気浴場等						
	ロ 上記以外の公衆浴場						
10	車両停車場・航空機発着場						
11	神社・寺院・教会等			1			1
12	イ 工場又は作業場	7	1	5			13
	ロ 映画、テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	4	4	5			13
	ロ 航空機等の格納庫						
14	倉庫	5	3	4	1	5	18
15	前項に該当しない事業場	52	5	3	1	6	67
16	イ 特定複合用途防火対象物	12			1	2	15
	ロ 上記以外の複合用途	4				1	5
16の2	地下街						
17	重要文化財・史跡						
18	50m以上のアーケード						
19	市町村長の指定する山林						
20	総務省令で定める舟車						
計		151	19	31	10	25	236

防火対象物数

令和8年4月1日現在

市 町		用 途	佐	多	小	神	吉	計
			賀	久	城	埼	野	
			市	市	市	市	ヶ	
							里	
							町	
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	16	3	1		2	22
	ロ	公会堂・集会場	83	15	26	9	6	139
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	15		3	2	3	23
	ハ	性風俗営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	6		1		2	9
3	イ	待合・料理店	4		1	5	3	13
	ロ	飲食店	481	26	55	37	44	643
4		百貨店・物品販売業	448	29	69	38	25	609
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	200	5	42	10	10	267
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	3,234	68	274	210	156	3,942
6	イ	病院・診療所・助産所	247	12	28	26	24	337
	ロ	老人短期入所施設等	222	15	35	27	7	306
	ハ	老人デイサービスセンター等	452	38	63	50	23	626
	ニ	幼稚園・特別支援学校	62		2		2	66
7		学校・各種学校	320	29	46	47	11	453
8		図書館・博物館・美術館	15	3	2		4	24
9	イ	蒸気浴場等	5		1		1	7
	ロ	上記以外の公衆浴場	6					6
10		車両停車場・航空機発着場	2			1	1	4
11		神社・寺院・教会等	200	20	41	35	8	304
12	イ	工場又は作業場	911	138	191	180	134	1,554
	ロ	映画、テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	162	12	24	17	3	218
	ロ	航空機等の格納庫	3				3	6
14		倉庫	863	128	182	176	106	1,455
15		前項に該当しない事業場	1,172	110	134	124	116	1,656
16	イ	特定複合用途防火対象物	702	32	65	35	14	848
	ロ	上記以外の複合用途	331	14	28	22	15	410
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡	14	4	4	3		25
18		50m以上のアーケード	2					2
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
計			10,178	701	1,318	1,054	723	13,974

中高層建築物（４階以上）

令和８年４月１日現在

階・用途		市町					計	
		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町		
４階		374	23	12	35	31	475	
５階		224	5	9	5	9	252	
６階		97	2		1	1	101	
７階		62		2			64	
８階		55			1		56	
９階		33					33	
10階		41		2			43	
11階		18					18	
12階		8					8	
13階		11					11	
14階以上		37					37	
計		960	30	25	42	41	1,098	
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	4				4	
	ロ	公会堂・集会場	4				4	
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール	2				2	
	ハ	性風俗営業店舗等						
3	イ	待合・料理店						
	ロ	飲食店	8				8	
4		百貨店・物品販売業	6				6	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	20	1	2	1	24	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	525	20	11	23	32	611
6	イ	病院・診療所・助産所	22	2	1		25	
	ロ	老人短期入所施設等	7	2	3	3	15	
	ハ	老人デイサービスセンター等	7				7	
7		学校・各種学校	33		3	4	40	
8		図書館・博物館・美術館	1				1	
9	イ	蒸気浴場等						
	ロ	上記以外の公衆浴場						
10		車両停車場・航空機発着場	1				1	
11		神社・寺院・教会等	1				1	
#	イ	工場又は作業場	15	1	1	3	3	23
	ロ	映画、テレビスタジオ						
#	イ	自動車車庫・駐車場	3				3	
	ロ	航空機等の格納庫						
14		倉庫	5		2	1	1	9
15		前項に該当しない事業場	83	2		5	4	94
#	イ	特定複合用途防火対象物	127	2	2			131
	ロ	上記以外の複合用途	86			3		89
16の2		地下街						
17		重要文化財・史跡						
18		50m以上のアーケード						
19		市町村長の指定する山林						
20		総務省令で定める舟車						
専用住宅								

II 危険物施設

数量別危険物施設数

令和8年4月1日現在

区分 数量	製造所	貯蔵所							取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	販売	一般	
5倍以下	0	77	0	3	37	84	0	107	7	1	79	395
5倍超 10倍以下	2	25	10	1	33	51	0	17	10	1	38	188
10倍超 50倍以下	2	18	13	1	48	49	0	20	43	3	43	240
50倍超 100倍以下	3	4	1	0	25	6	0	1	22	0	10	72
100倍超 150倍以下	0	2	0	0	4	2	0	0	14	0	0	22
150倍超 200倍以下	0	2	0	0	5	1	0	0	23	0	3	34
200倍超 1,000倍以下	2	6	0	0	7	3	0	0	46	0	2	66
1,000倍超 5,000倍以下	0	5	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8
計	9	139	24	5	162	196	0	145	165	5	175	1,025

危険物施設数

令和8年4月1日現在

区分	市町	佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	計
製造所		3	0	1	0	5	9
貯蔵所	屋内	71	9	16	10	33	139
	屋外	0	5	0	1	18	24
貯蔵所	屋内タンク	2	0	0	2	1	5
	屋外タンク	74	9	19	21	39	162
	地下タンク	111	19	25	27	14	196
	簡易タンク	0	0	0	0	0	0
取扱所	移動タンク	83	3	12	15	32	145
	給油	102	17	23	15	8	165
	販売	5	0	0	0	0	5
取扱所	一般	93	18	19	26	19	175
計		544	80	115	117	169	1,025

Ⅲ 防火クラブ

幼少年女性防火委員会

名 称	結成年月日	事 務 局
佐賀地区幼少年女性防火委員会	平成12年4月1日	佐賀広域消防局 予防課

1 委員会の設立

平成12年4月1日、佐賀広域消防局発足と同時に旧佐賀市消防本部、旧多久市消防本部、旧佐賀郡消防本部、旧小城地区消防本部の各幼少年女性防火委員会が統合し設置された。

平成25年4月1日、新に神埼地区消防本部と統合し、旧神埼地区消防本部の各幼少年女性防火委員会も統合された。

幼年・少年消防クラブ

1 結成状況

令和8年4月1日現在

市町	幼年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数	少年消防クラブ数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	35	2,091	0	0
多久市	13	276	1	96
小城市	12	237	1	78
神崎市	8	812	0	0
吉野ヶ里町	5	469	1	16
合計	73クラブ	3,885名	3クラブ	190名

2 令和7年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
6	火災予防広報及び住宅用火災警報器普及啓発活動	佐賀市
7	消防学校入校 防災研修	佐賀市
8	佐賀広域消防局防災学習広場、佐賀県防災航空センター 視察研修	佐賀市
10	さが防災フェスタ2025出演	佐賀市
10	吉野ヶ里ふるさと炎まつり 火災予防広報活動	吉野ヶ里町
11	吉野ヶ里夢ロマン軽トラ市 住宅用火災警報器普及啓発活動	吉野ヶ里町
11	幼年消防クラブ員一日消防署体験	多久市
11	幼年消防クラブ員防火パレード	多久市
11	秋季火災予防運動実施に伴う、登園児の防火法被着用	多久市
1	多久市消防団出初式への出演	多久市
1	吉野ヶ里ロードレース 防火広報活動	吉野ヶ里町
3	春季火災予防運動実施に伴う火災予防広報	佐賀市
3	大和町防火のつどい	佐賀市
3	春季火災予防運動実施に伴う、登園児の防火法被着用	多久市

女性防火クラブ

1 結成状況

令和8年4月1日現在

市 町	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
佐賀市	1	7
合 計	1クラブ	7名

2 令和7年度の活動状況

月	活 動 の 内 容	市 町
6、11	さが防火フェスタへの協力、火災予防広報及び住宅用火災警報器普及啓発活動への協力	佐賀市

IV 防災学習広場

防災学習広場

防災について学び、消防の取り組みや地元佐賀を見つめ直すことで、これまで気づかなかった消防の役割や署員の働き、さらには地域に潜む危険を知り、防災力を養うことができます！

○佐賀散歩コーナー



市街地、沿岸部、山間部の3つのエリアで構成される佐賀の地形から、災害時に注意すべき場所とその場所で起こり得る災害について学び、身近な暮らしの中から災害の視点と防災力を学ぶコーナー

○佐賀消防コーナー



消防署の日々の業務や消防車両について、身近に感じて考えながら学ぶコーナー

○地震体験コーナー



●地震体験



●直後の避難体験



●地震への備え発見

シミュレーターによる地震体験や避難体験を通して、地震が起きた時の危険や正しい行動、備えについて学ぶコーナー

○風水害体験コーナー



●風水害シアター



●泥水歩行体験



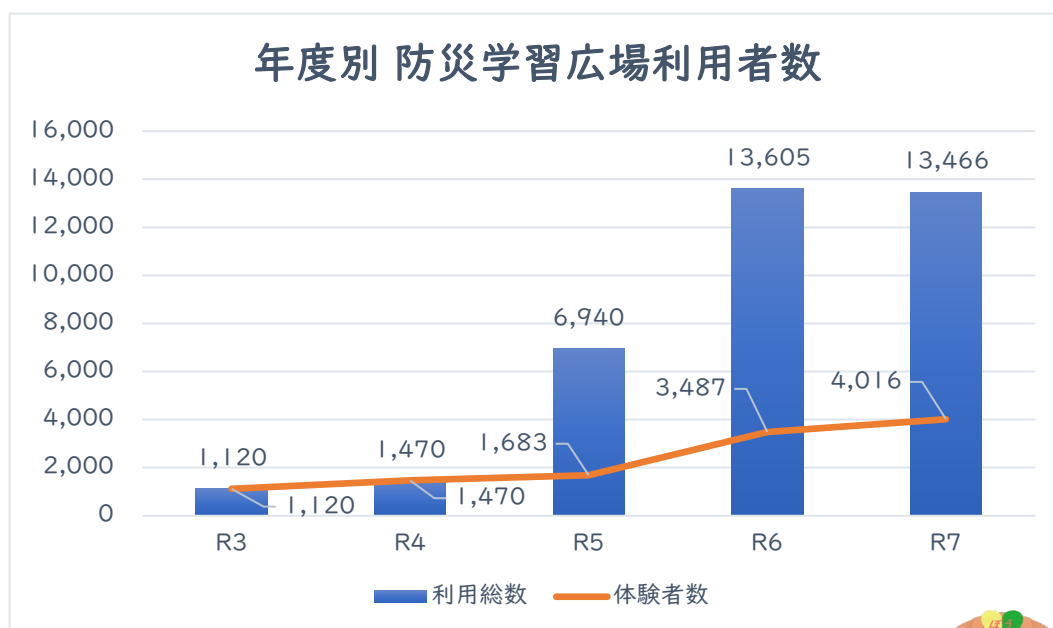
●豪雨シミュレーション

豪雨や冠水などの実態を迫力のシアターやシミュレーションで体験、風水害への対処法や身近な危険を学ぶコーナー

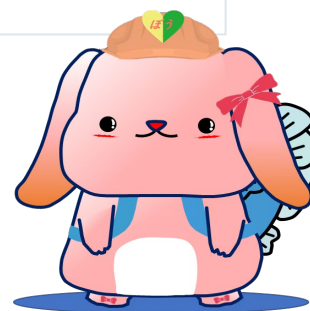
・防災学習広場の体験コーナー運営実績（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

月	大人	高校生	中学生	小学生	幼児	合計
4	148	1	3	21	25	198 人
5	146	1	8	9	47	211 人
6	102	12	20	76	28	238 人
7	165	22	27	125	28	367 人
8	316	42	47	334	82	821 人
9	167	13	14	51	30	275 人
10	245	0	1	112	32	390 人
11	117	0	5	308	53	483 人
12	102	2	2	77	18	201 人
1	102	3	2	34	23	164 人
2	172	0	8	71	15	266 人
3	115	1	33	106	147	402 人
合計	1,897	97	170	1,324	528	4,016 人
施設見学	4,300	24	24	285	4,817	9,450 人
総計	6,197	97	170	1,324	5,345	13,466 人
R3	668	26	30	285	111	1,120 人
R4	870	32	54	357	157	1,470 人
R5	3,452	12	65	578	2,833	6,940 人
R6	6,371	85	127	1,040	5,982	13,605 人

※ R5年度から施設見学者を含む。

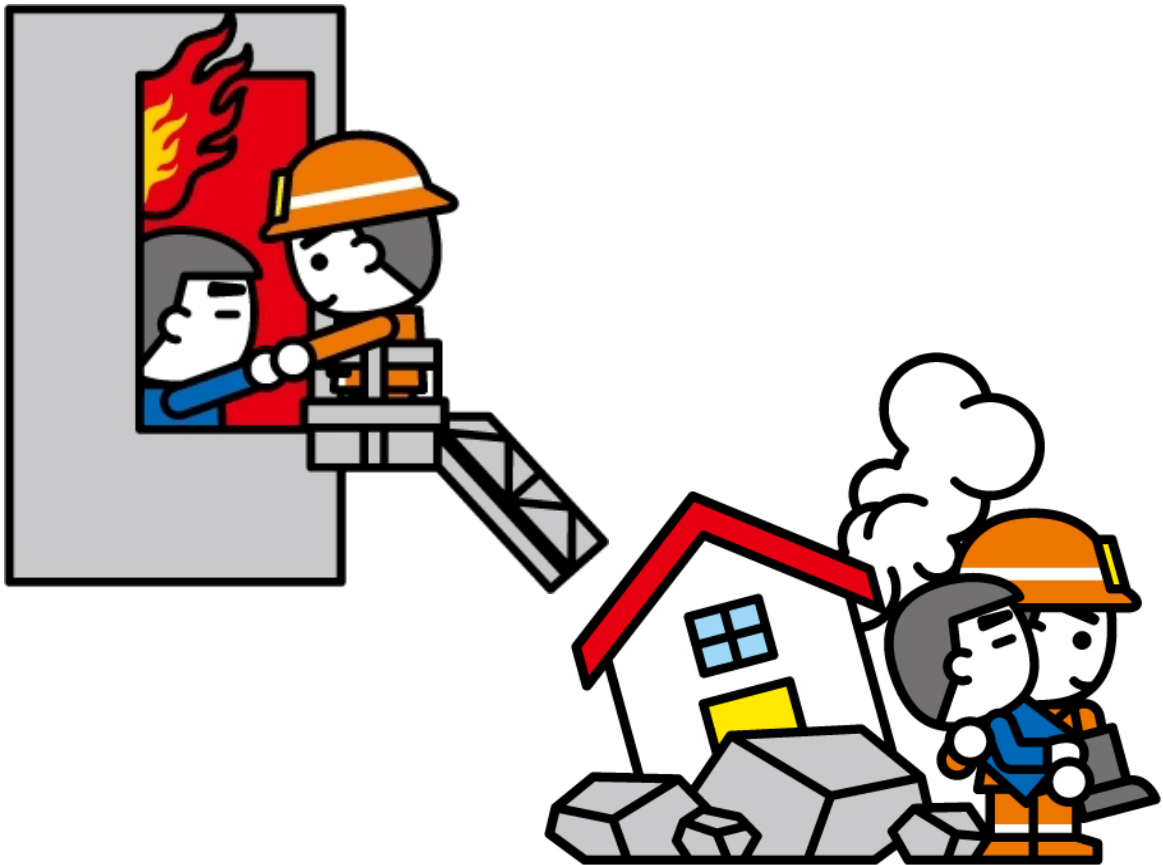


※運営開始 令和3年5月10日
 ※開館時間 9時00分から17時00分
 ※休館日 毎週土曜日（8月を除く）
 国民の祝日及び年末年始（12月29日から1月3日）



防災学習広場イメージキャラクター
「ぼうさぎ」

○ 警 防



1 緊急消防援助隊とは

大規模災害や特殊災害が発生し、被災地の消防機関のみでは対処できないような場合に、全国の消防本部や航空隊が応援に駆け付けます。

この応援部隊が「緊急消防援助隊」です。

- (1) 契機：平成7年（1995年）の阪神・淡路大震災
- (2) 創設：平成7年6月
- (3) 法制化：平成15年に成立【平成16年から施行】

2 全国の緊急消防援助隊の登録状況

出典：総務省消防庁

部隊名	登録隊数	部隊名	登録隊数
指揮支援部隊	113隊	後方支援小隊	938隊
各部隊指揮隊	417隊	通信支援小隊	45隊
救急特別編成 統括救急隊	58隊	特殊災害小隊	372隊
情報統括支援隊	9隊	特殊装備小隊	516隊
消火小隊	2,437隊	水上小隊	21隊
救助小隊	725隊	航空小隊	77隊
救急小隊	1,594隊	航空後方支援小隊	59隊
合計		合計	7,381隊

○指揮支援部隊：指揮支援隊、航空指揮支援隊

○各部隊指揮隊：都道府県大隊、統合機動部隊、NBC災害即応部隊、エネルギー産業基盤災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊、安全管理部隊

○航空部隊：航空小隊、航空後方支援小隊

3 佐賀広域消防局の登録状況

平成12年から緊急消防援助隊として登録しており、令和8年4月1日現在で、28隊101名が登録され、有事に備えています。

部隊名	登録隊数	登録人数	部隊名	登録隊数	登録人数
都道府県大隊 指揮隊	2隊	8名	救急小隊	4隊	12名
統合機動部隊 指揮隊	2隊	8名	後方支援小隊	4隊	9名
土砂・風水害機動支援部隊 指揮隊	1隊	4名	通信支援小隊	1隊	4名

NBC災害即応部隊 指揮隊	1隊	4名	特殊災害小隊	1隊	5名
消火小隊	6隊	24名	特殊装備小隊	2隊	8名
救助小隊	4隊	15名	合計	28隊	101名

4 佐賀広域消防局の応援出動実績

(1) 東日本大震災（平成23年）

ア 派遣部隊：5隊19名

イ 派遣延べ人員：19名

ウ 派遣期間：平成23年3月14日～3月22日（9日間）



(2) 熊本地震（平成28年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：104名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成28年4月14日～4月25日（11日間）



(3) 九州北部豪雨（平成29年）

ア 派遣部隊：6隊23名

イ 派遣延べ人員：175名（交代要員等含む）

ウ 派遣期間：平成29年7月5日～7月25日（21日間）



(4) 令和2年7月豪雨

ア 派遣部隊：5隊17名

イ 派遣延べ人員：17名

ウ 派遣期間：令和2年7月4日～7月7日（4日間）



5 緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練

緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図るため、都道府県及び市町村の協力を得て、全国を6つのブロックに区分して、毎年地域ブロック合同訓練が実施されています。

○令和7年度九州ブロック合同訓練開催場所

大分県大分市松岡付近（メイン会場）



6 緊急消防援助隊ロゴマーク

緊急消防援助隊の結束力を一層強化し、その活動をより広く周知することなどを目的として、消防庁においてロゴマークが作成されました。救助活動に使用する消防の基本ツールであるカラビナをモチーフとしています。



緊急消防援助隊
National Fire Service Team for Disaster Response

消防水利の状況

令和8年4月1日現在

水利種別 市 町	消 火 栓		防 火 水 槽				計
	公 設	私 設	公 設		私 設		
			40m ³ 以上	40m ³ 未満	40m ³ 以上	40m ³ 未満	
佐 賀 市	2,757	76	415	80	12	13	3,353
多 久 市	288	1	240	14			543
小 城 市	675	2	69	41			787
神 埼 市	523		40	32			595
吉 野 ヶ 里 町	274		91	11			376
計	4,517	79	855	178	12	13	5,654

II 救急

応急手当普及啓発活動実施状況

令和7年中

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
佐賀消防署	救命講習	件数	1	1		3	3	2	1	1	2	2	1		17
		受講員	18	27		63	44	40	10	10	34	42	27		315
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1	5	1	7	7	15	8	2	3	5	3		57
		受講員	17	120	28	273	412	384	85	27	105	182	85		1,718
多久消防署	救命講習	件数	1	1		1		2	1		1	1	1		9
		受講員	10	3		1		21	2		3	2	8		50
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1		1		8	3	4		1		1	2	21
		受講員	12		18		202	38	71		37		22	39	439
南部消防署	救命講習	件数	1		1	1	1	1	1	1		1	1	1	10
		受講員	1		1	4	11	3	10	13		3	6	22	74
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数			2	3	4	6	3	3	2	2	2	1	28
		受講員			60	154	73	104	66	77	19	55	36	300	944
北部消防署	普通救命講習	件数	1		2	1	3	2	3	3	2	2	1		20
		受講員	2		17	13	41	29	47	30	31	28	9		247
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1	2	1	4	3	11	5	3	5	2	1		38
		受講員	20	47	8	117	54	523	126	69	107	36	7		1,114
小城消防署	救命講習	件数		1	1		1	2	1	1	4	1	1	1	14
		受講員		6	4		6	25	4	12	61	15	7	4	144
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数	1	4	1		2	3	6	3	4		6	1	31
		受講員	15	70	10		60	20	163	82	165		93	55	733
神埼消防署	救命講習	件数	1	2	1		1		2	2	1		1	2	13
		受講員	10	11	10		8		34	23	18		17	34	165
	その他の普及啓発(入門コース含む)	件数		1	4		5	6	7	2	2	2	3		32
		受講員		7	96		142	58	268	30	214	37	181		1,033
合計	救命講習	件数	5	5	5	6	9	9	9	8	10	7	6	4	83
		受講員	41	47	32	81	110	118	107	88	147	90	74	60	995
	その他の普及啓発活動	件数	4	12	10	14	29	44	33	13	17	11	16	4	207
		受講員	64	244	220	544	943	1,127	779	285	647	310	424	394	5,981

《救命講習》心肺蘇生法（AED含む）や止血法などを指導する講習で、修了証を発行しています。

《その他の普及啓発活動》住民、団体からの要望に合わせた応急手当の講習会や応急手当の指導員を養成する講習等です。

○ 救急講習の概要

講習種別	講習時間	講習内容	修了証の交付
普通救命講習Ⅰ	3時間	心肺蘇生法(主に成人)、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
普通救命講習Ⅱ	4時間	普通救命講習Ⅰに筆記・実技試験が加わります。	あり
普通救命講習Ⅲ	3時間	小児・乳児・新生児用の心肺蘇生法、止血法、異物除去、AED取扱。	あり
上級救命講習	8時間	心肺蘇生法(成人・小児・乳児対象)、止血法、傷病者管理法、AED取扱、外傷の手当て、搬送法、異物除去。 筆記・実技試験があります。	あり
その他の普及啓発活動	3時間未満	受講者のニーズに合わせた救命に関する講習です。	なし

○ 講習の様子



救マーク制度

宿泊施設、公共施設、スポーツ施設、店舗など、多数の方が利用する施設の従業員に対して救マーク講習を実施し、当該受講者が施設に常駐することで、利用者に安心して利用できる施設であることを表示するもので、平成17年7月1日から施行しています。講習内容については、普通救命講習Ⅱ（普通救命講習Ⅰ＋筆記・実技試験）を行っています。（4時間）

○ 施設別救マーク交付状況

用 途	計
宿泊施設	15
公共施設	14
スポーツ施設	8
店 舗	5
その他	6
計	48

○ 市町別救マーク交付状況

市 町	計
佐 賀 市	36
多 久 市	3
小 城 市	7
神 埼 市	1
吉野ヶ里町	1
計	48

救急資器材保有状況

（令和8年4月1日現在）

資 機 材		署						計	資 機 材		署						計	
		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署				佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署		
観 察 用 資 器 材	患者監視用モニター	6	2	1	3	3	3	18	訓 練 用 資 器 材	心肺蘇生法訓練用人形（成人用）	21	10	15	6	6	13	71	
	血中酸素飽和度測定器	13	4	4	3	3	9	36		心肺蘇生法訓練用人形（小児用）	24	8	12	8	8	13	73	
	血糖測定器	8	2	2	3	3	4	22		心肺蘇生法訓練用人形（乳児用）	24	8	13	8	8	13	74	
	体温計	23	9	9	10	12	17	80		胸骨圧迫トレーニングツール	39	40	40	39	40	40	238	
	血圧計	12	2	7	6	6	8	41		AED トレーナー	21	11	14	6	9	13	74	
処 置 用 資 器 材	電動式吸引器	9	4	5	5	6	9	38	器 材	気道管理トレーナー（成人用）								
	自動心肺蘇生器	3	2	2	2	1	3	13		高度救命処置シミュレーター	4	2	2	2	2	3	15	
	全身固定用具	12	7	11	11	7	14	62		外傷モデルキット						1	1	
	資 器 材	上半身脊柱固定用具	6	3	2	4	2	4	21	消 毒 用 資 器 材	オゾン殺菌装置							
		半自動式除細動器	6	2	2	3	3	4	20		オートクレープ殺菌器							
		自動式人工呼吸器	6	2	2	3	3	4	20		低濃度オゾンガス生成装置	6	2	3	3	3	6	23

- ※¹ 訓練用の資器材は除く。
- ※² 血圧計は、車両に設置されているものを除く。
- ※³ 上半身脊柱固定用具：ショートボード、KED等
- ※⁴ ZOOLは除細動で計上している。

III 救助

救助資機材保有状況

令和8年4月1日現在

資器材		署						計	資器材		署						計
		佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署				佐賀消防署	多久消防署	南部消防署	北部消防署	小城消防署	神埼消防署	
一般救助用器具	かぎ付きはしご	10	4	3	3	3	3	26	重量物排除器具	油圧ジャッキ	11		3	1	7	22	
	三連はしご	12	2	4	5	6	6	35		油圧スプレッダー						0	
	金属製折りたたみはしご	1	2	1	2	1		7		可搬ウインチ	4	2	2	2	3	2	15
	空気式救助マット	1				1		2		マット型空気ジャッキ	5		1	1	1	3	11
	救命索発射銃	1	1	1	1	1	1	6		マンホール救助器具			1		1	1	3
	救助用縛帯	16	4	4	4	7	6	41		破壊用器具	万能斧	42	12	16	18	14	23
高度救助用器具	画像探索機	2				1		3	携帯用コンクリート破壊器具	1	2	2	1	2	1	9	
	地中音響探知機	1				1		2	削岩機	2		1		4		7	
	熱画像直視装置	4	3	2	2	3	3	17	ハンマードリル	2				1		3	
	夜間用暗視装置	1				1		2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	50	22	25	19	26	21	163
	地震警報器	1				1		2	酸素呼吸器	5				4		9	
	電磁波探査装置	1						1	簡易呼吸器							0	
切断用器具	油圧切断機	1						1	防塵マスク	19				2		21	
	エンジンカッター	8	3	3	3	4	3	24	送排風機	3	1	1	1	1		7	
	ガス溶断機	1						1	エアラインマスク式	2						2	
	チェーンソー	6	5	3	3	6	4	27	水難救助用器具	潜水器具				14		14	
	鉄線カッター	18	8	12	10	9	11	68	救命胴衣	50	19	25	54	28	31	207	
	空気鋸	2	1		1	1		5	水中投光器				13			13	
	アークエアー溶断機							0	救命浮環	14	2	7	5	5	5	38	
測定用器具	可燃性ガス測定器	7	2	2	2	3	3	19	浮標	2			2			4	
	有毒ガス測定器	1				1	3	5	救命ボート	2	2	2	3	3	2	14	
	放射線測定器	23	9	10	9	16	6	73	船外機		1		2	1	1	5	
隊員保護用器具	耐電手袋	12	3	3	4	5	2	29	その他の救助用器具	投光器	15	6	6	3	6	7	43
	耐電衣	9	3	3	1	2		18	携帯投光器	18	17	9	8	12	1	65	
	耐電ズボン	9	3	3	1			16	携帯拡声器	25	12	15	9	11	17	89	
	耐電長靴	9	1	3	1	2		16	携帯無線機	47	16	20	19	22	30	154	
	化学防護服	54	17	80	32	69	97	349	応急処置用セット	3	2	2	3	4	2	16	
	防塵メガネ							0	緩降機	1		1				2	
	携帯警報器	6	9	13	4	13	20	65	バスケット型担架	3	2	2	3	2	1	13	
	防毒マスク	28		30	9	15	3	85	発電機	9	6	7	6	12	8	48	
	耐熱服	4		4			5	13	救助用支柱器具	1						1	

国際消防救助隊の紹介

1 国際消防救助隊とは

海外における大規模災害発生時に、被災国等からの要請を受けて派遣される国際緊急援助隊救助チーム（JDR）のうち、消防機関で構成する救助チームのことを「国際消防救助隊」と言います。

国際消防救助隊は、全国の消防本部のうち、一定の要件を満たした77消防本部599名の救助隊員が登録されています。

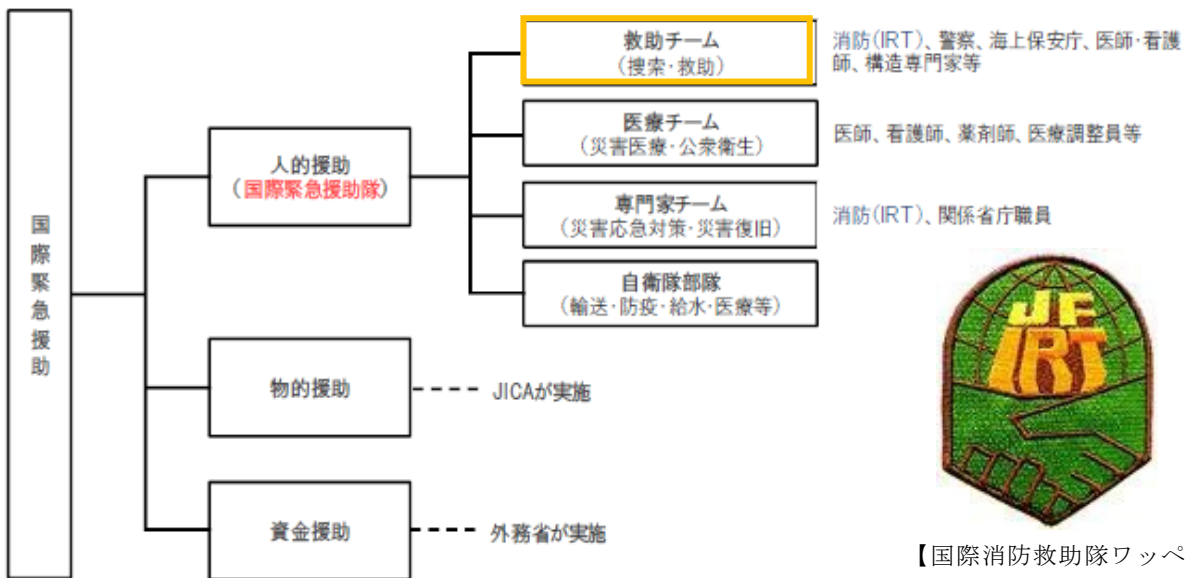
2 佐賀広域消防局の隊員登録等

国際消防救助隊の更なる捜索、救助体制の充実強化を目的として、平成21年10月に「国際消防救助隊編成協力市町村に関する基準」が改正されました。

これを受け、佐賀広域消防局では協力市町村として登録申請を行い、同年協力市町村として登録され、現在6名の隊員が登録されています。

3 国際緊急援助隊の組織

国際緊急援助隊は、外務省、警察庁、消防庁、海上保安庁及び国際協力機構（JICA）の業務調整員並びに国際協力機構に登録している医療班、構造評価専門家等で組織され、救助隊員は、消防庁、警察庁及び海上保安庁の3庁で構成されています。



4 国際消防救助隊の派遣実績

海外への災害派遣は、1987年の「国際緊急援助隊の派遣に関する法律（通称JDR法）」施行前の2回を含めると、これまでに22回行われています。

近年では、令和5年2月に発生したトルコ共和国における地震災害において、トルコ共和国政府からの援助要請に対し、国際消防救助隊17名が派遣されています。

※ 現在のところ、佐賀広域消防局からの派遣実績はありません。

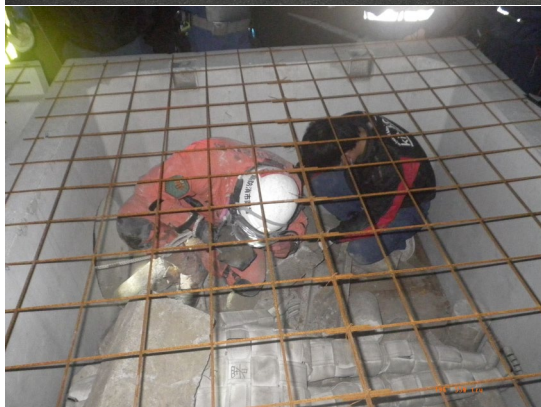
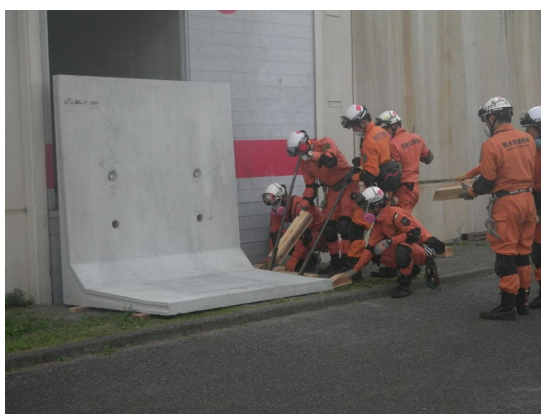
5 国際消防救助隊の訓練

(1) 国際消防救助隊連携訓練

国際消防救助隊員として必要とされる基礎的活動技術、知識の習得及び登録隊員相互の連携強化を図ることを目的に、毎年全国2か所で全ての登録消防本部が参加する連携訓練が実施されています。

(2) 九州地区国際消防救助隊合同訓練

毎年、九州7県の9登録消防本部が参加する合同訓練が実施されています。令和8年度の合同訓練は佐賀県で開催される予定です。



国際消防救助隊の派遣状況					
(令和5年11月1日現在)					
派遣年月日	災害名	被災地	被害状況	派遣実績、活動概要等	
1 昭61.8.27~9.6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者 1,700人以上	国際消防救助隊員1人(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導	
2 昭61.10.11~10.20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者 1,226人 倒壊家屋 30,000戸	国際消防救助隊員9人(東京消防庁5人、横浜市消防局3人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
3 平2.6.22~7.2 (11日間)	イラン 地震災害	イランイスラム共和国 カスピ海沿岸	死者 80,000人以上	国際消防救助隊員6人(東京消防庁5人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
4 平2.7.18~7.26 (9日間)	フィリピン 地震災害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者 1,600人以上	国際消防救助隊員11人(東京消防庁2人、名古屋市消防局4人、広島市消防局4人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
5 平3.5.15~6.6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ 人民共和国	死者 約130,000人	国際消防救助隊員38人(東京消防庁17人、大阪市消防局11人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、消防庁2人)及びヘリコプター2機 被災者への救援物資の輸送等を実施	
6 平5.12.13~12.20 (8日間)	マレーシア クアラルンプール郊外 ウル克蘭地区	マレーシア クアラルンプール郊外 ウル克蘭地区	死者 48人 倒壊ビル 1棟	国際消防救助隊員11人(東京消防庁6人、名古屋市消防局2人、北九州市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
7 平8.10.30~11.6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者 64人 崩壊ビル 1棟	国際消防救助隊員9人(東京消防庁3人、札幌市消防局2人、大阪市消防局2人、松戸市消防局1人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
8 平9.10.22~11.11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 18,000ha (ランブン州内)	国際消防救助隊員30人(東京消防庁19人、名古屋市消防局5人、大阪市消防局3人、横浜市消防局2人、消防庁1人)及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言	
9 平11.1.26~2.4 (10日間)	コロンビア 地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者 1,171人 負傷者 4,765人	国際消防救助隊員15人(東京消防庁8人、大阪市消防局2人、千葉市消防局2人、船橋市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
10 平11.8.17~8.24 (8日間)	トルコ 地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者 約15,370人 負傷者 23,954人	国際消防救助隊員25人(東京消防庁12人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、市川市消防局2人、尼崎市消防局2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
11 平11.9.21~9.28 (8日間)	台湾 地震災害	台湾中部	死者 2,333人 負傷者 10,002人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁18人、仙台市消防局4人、千葉市消防局3人、京都市消防局4人、川口市消防本部2人、松戸市消防局2人、新潟市消防局2人、岡山市消防局2人、倉敷市消防局2人、佐世保市消防局2人、鹿児島市消防局2人、消防庁3人) 倒壊建物からの救助	
12 平15.5.22~5.29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア 民主人民共和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266人 負傷者 10,000人以上	国際消防救助隊員17人(東京消防庁8人、京都市消防局2人、仙台市消防局2人、川口市消防本部2人、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部2人、消防庁1人) 倒壊建物からの救助	
13 平16.2.25~3.1 (6日間)	モロッコ 地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 628人 負傷者 926人	国際消防救助隊員7人(東京消防庁4人、千葉市消防局1人、京都市消防局1人、消防庁1人) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供与等を実施	
14 平16.12.29~17.1.20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者・行方不明者 229,866人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁23人、大阪市消防局15人、千葉市消防局2人、横浜市消防局1人、相模原市消防本部1人、川越地区消防組合消防本部1人、消防庁3人)及びヘリコプター2機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索技術指導等を実施	
15 平17.10.9~10.18 (10日間)	パキスタン・ イスラム共和国 地震災害	パキスタン・イスラム共和国 バトグラム周辺	死者 73,338人 負傷者 69,412人	国際消防救助隊員13人(東京消防庁6人、横浜市消防局3人、船橋市消防局2人、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動	
16 平20.5.15~5.21 (7日間)	中国四川省における 地震災害	中華人民共和国四川省 広元市周辺	死者 69,227人 負傷者 374,643人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、川崎市消防局3人、名古屋市消防局3人、市川市消防局2人、藤沢市消防本部2人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動	
17 平21.10.1~10.8 (8日間)	インドネシア 西スマトラ州 バダン沖地震災害	インドネシア共和国 バダン市周辺	死者 1,117人 負傷者 約2,900人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、札幌市消防局3人、福岡市消防局3人、さいたま市消防局2人、横須賀市消防局2人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか	
18 平23.2.22~3.12 (19日間)	ニュージーランド 南島地震災害	ニュージーランド クライストチャーチ市	死者 181人 (うち邦人28人)	国際消防救助隊員33人(東京消防庁16人、京都市消防局3人、千葉市消防局3人、相模原市消防局2人、高松市消防局2人、新潟市消防局2人、福岡市消防局2人、消防庁3人) 建物倒壊現場での捜索救助活動ほか	
19 平27.4.26~5.9 (14日間)	ネパール地震災害	ネパール連邦民主共和国 カトマンズ市	死者 8,896人 (うち邦人1人) 負傷者 22,302人 (うち邦人1人)	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、さいたま市消防局3人、浜松市消防局3人、川越地区消防局1人、秋田市消防本部1人、高崎市等広域消防局1人、富山市消防局1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動	
20 平29.9.21~9.28 (8日間)	メキシコ地震災害	メキシコ合衆国 メキシコシティ	死者 369人 負傷者 約8,800人	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、仙台市消防局3人、京都市消防局3人、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部1人、豊中市消防局1人、和歌山市消防局1人、高知市消防局1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動	
21 平30.2.9~2.11 (3日間)	台湾東部地震災害	台湾 花蓮県	死者 17人 負傷者 285人	国際消防救助隊員2人(東京消防庁2人) 捜索資機材の貸与及び資機材取扱要領の指導を実施	
22 令5.2.6~2.15 (10日間)	トルコ地震災害	トルコ共和国南東部	死者 50,000人以上 負傷者 100,000人以上	国際消防救助隊員17人(東京消防庁6人、福岡市消防局3人、広島市消防局3人、茨城西南広域消防本部1人、上越地域消防局1人、徳島市消防局1人、宮崎市消防局1人、消防庁1人) 建物倒壊現場での捜索救助活動	

※1及び2については、「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」制定前であり、JICAの短期専門家として派遣されている。

※総務省消防庁に掲載されている最新の情報です。

○通信



通信指令業務は、災害通報の受付から情報伝達、状況の把握までを担い、消防活動における初動の要となる役割を果たしています。令和3年4月から「高機能消防指令センター」の運用を始め、災害地点の迅速な特定や出動部隊の選定、支援情報の提供、現場状況の画像共有など、高度で正確な通信指令運用を行っています。

指令センター員が現場の状況をより正確に把握するための取り組みとして、映像通報システムを導入しています。音声だけでは伝わりにくい場合でも、スマートフォンで撮影した映像をそのまま指令センターへ送ることで、現場の様子を直接確認できます。これにより、救急・消防活動の初動をより確実なものにしています。

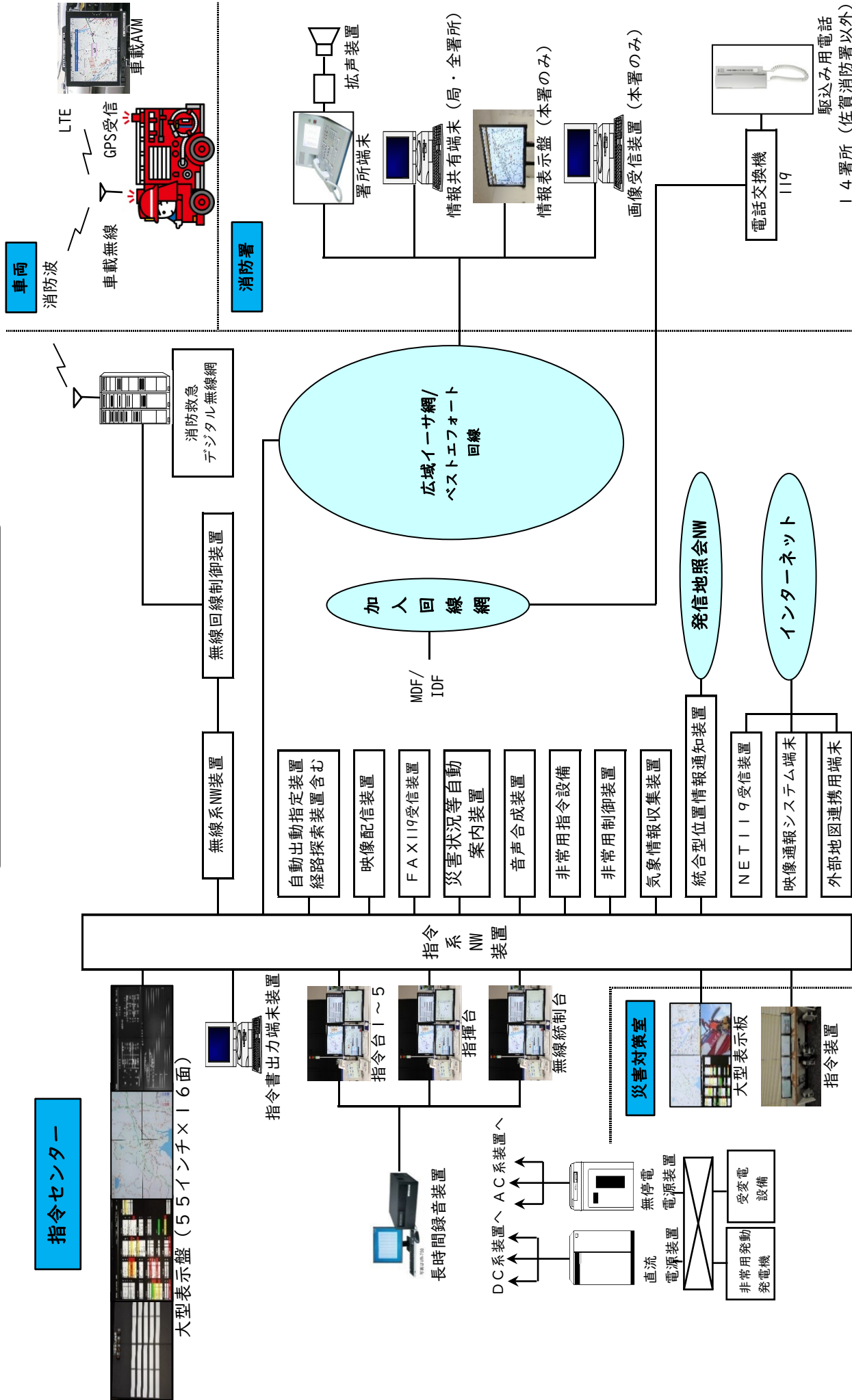
また、聴覚や発話に障がいのある方でも、スマートフォンや携帯電話からチャット形式で通報できる『NET119通報システム』を導入しています。

さらに、119番通報の中で最多を占める救急要請に対し、応急処置等の口頭指導を実施することで、重度傷病者の救命効果の向上を図っています。

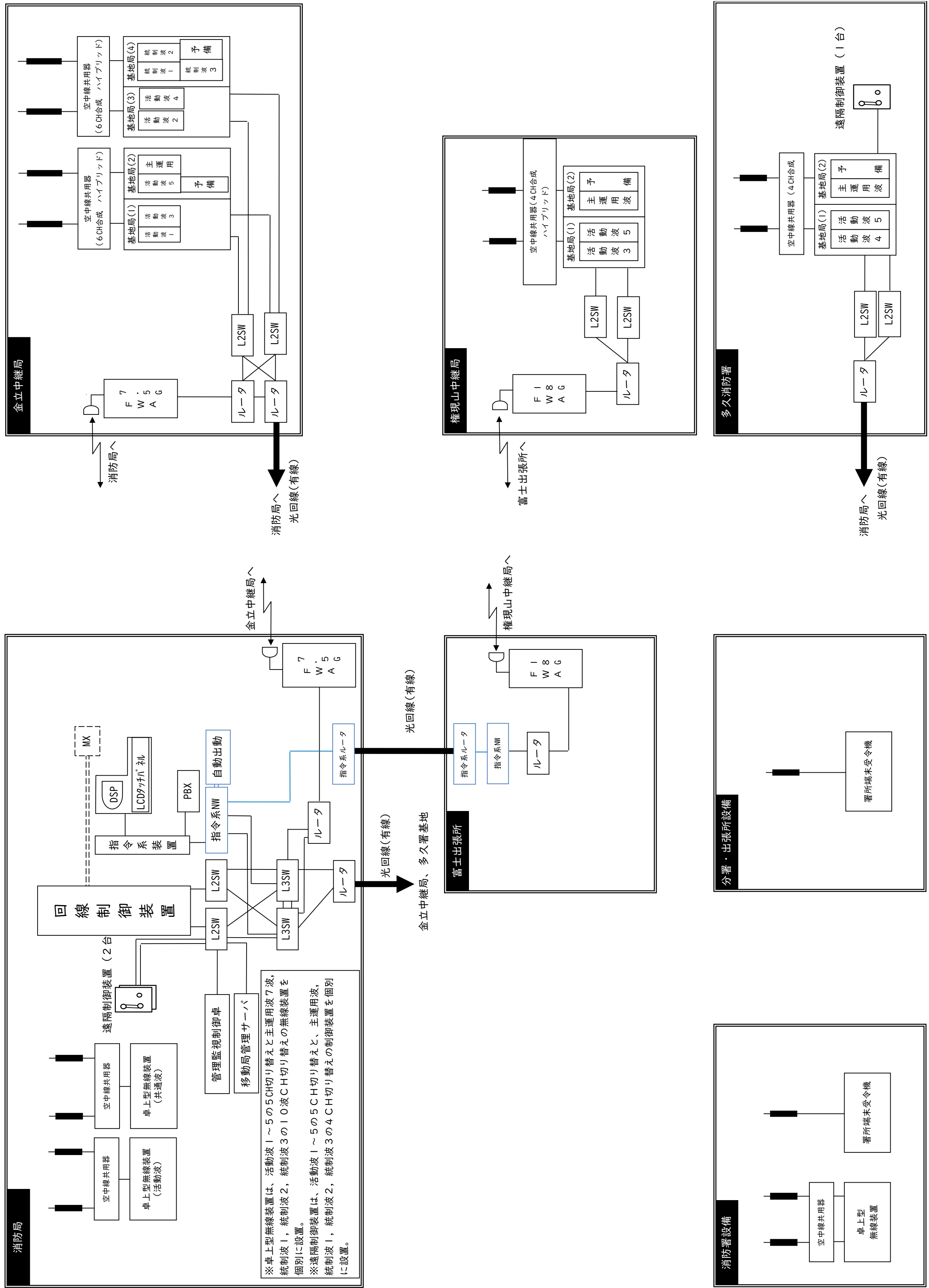
助けを求めている住民に一番初めにコンタクトをとり、的確な対応と迅速な指示により、消防活動における初動の要を担い地域住民の安心、安全に努めています。



通信指令システムの構成図



消防救急デジタル無線システム系統図



無線局配置

[基地局・固定局]

令和8年4月1日現在

配 置	局種別	出力	識別信号	数 量
金立山	基地	10w	きんりゅうしょうぼう	1
	固定 (FWA)	5mw		1
権現山	基地	10w	ごんげんしょうぼう	1
	固定 (FWA)	251mw		1
多久	基地	10w	たくしょうぼう	1
佐賀	固定 (FWA)	5mw	さがしょうぼう	1
富士	固定 (FWA)	251mw	ふじしょうぼう	1

[移動局]

令和8年4月1日現在

配 置	車両・携帯の別	出力	主な識別信号	数 量
消防局	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	3
	卓上型固定移動局	5w	さしょうしれい	2
	車載型移動局	5w	さしょうほんぶ	6
	携帯型移動局	1w・2w・5w	さしょうほんぶ	13
	署活系	1w	さがしれい・さがほんぶ	15
佐賀消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうしき・さしょうさが	17
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	5
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうさが	16
	署活系	1w	さが・にし・ひがし	31
多久消防署	可搬型移動局	5w	さしょうかはん	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうたく	8
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうたく	6
	署活系	1w	たく	11
南部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうなんぶ	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうなんぶ	8
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	2
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうなんぶ	8
	署活系	1w	なんぶ・くぼた	13
北部消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうほくぶ	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうほくぶ	8
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうほくぶ	7
	署活系	1w	ほくぶ・ふじ	13
小城消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうおぎ	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうおぎ	9
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	3
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうおぎ	9
	署活系	1w	おぎ・おぎきた	16
神埼消防署	卓上型固定移動局	5w	さしょうかんざき	1
	車載型移動局 (消防車・緊急車)	5w	さしょうかんざき	9
	車載型移動局 (救急車)	5w	さしょうきゅうきゅう	4
	携帯型移動局	1w・5w	さしょうかんざき	9
	署活系	1w	かんざき・よしのがり・さんせ	18

○ 統計



I 火災

火災の種別

火災種別	摘 要
建物火災	建物又はその収容物が焼損した火災をいう。
林野火災	森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。
車両火災	自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。
船舶火災	船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
航空機火災	航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
その他の火災	上記火災以外の火災をいう。

令和7年中の火災概要

佐賀広域消防局管内における令和7年中の火災発生件数は105件で、前年より15件増加した。

火災種別ごとにみると、建物火災が58件(前年比;+12)、林野火災2件(前年比;-2)、車両火災9件(前年比;-2)、船舶火災1件(前年比;+1)、航空機火災0件(前年比;±0)、その他の火災35件(前年比;+6)となった。

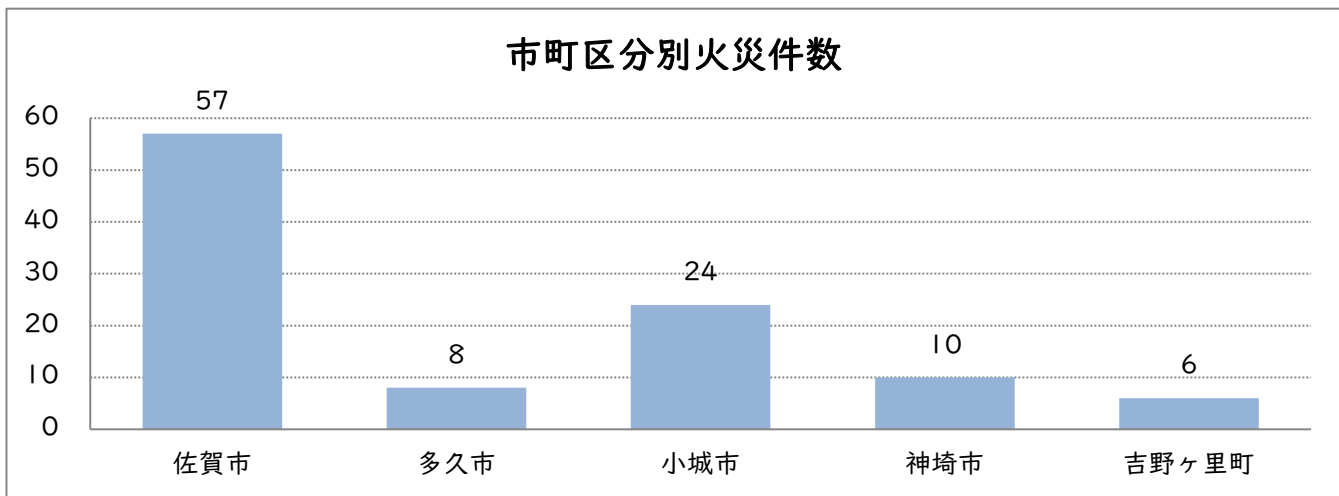
出火原因の第1位は「たき火」で14件(13.33%)、次に「たばこ」が8件(7.62%)、次いで「こんろ」が7件(6.67%)、「火入れ」が6件(5.71%)、「排気管」が5件(4.76%)となった。

火災による死者は3名(前年比;-1)、負傷者は14名(前年比;-2)となった。

火災発生状況

令和7年中

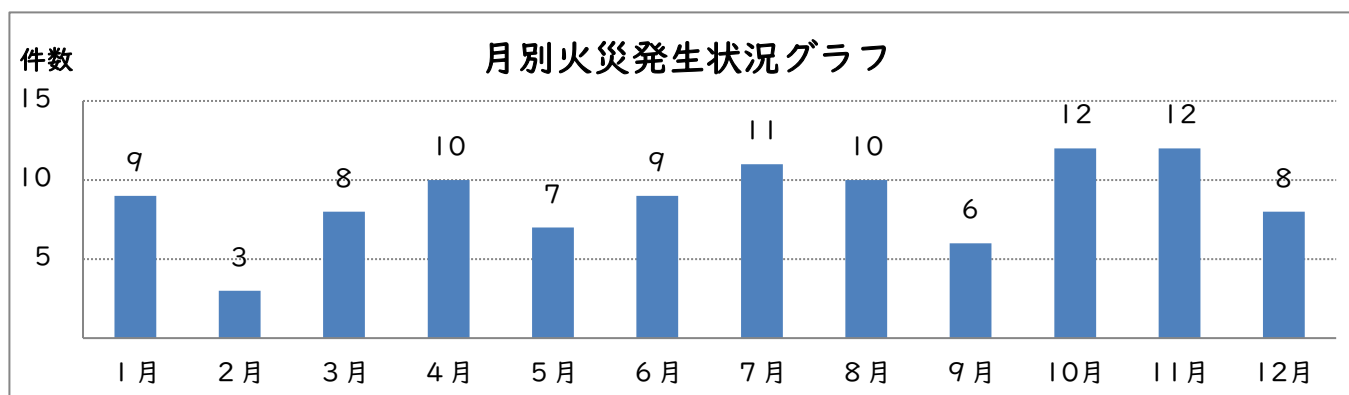
区分		市 町					計	
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町		
火災 件 数	火災 種 別	建 物	33	3	13	6	3	58
		林 野	1		1			2
		車 両	4		5			9
		船 舶	1					1
		航空機						0
		その他	18	5	5	4	3	35
		爆 発						0
	計		57	8	24	10	6	105
焼 損 棟 数	火 元	全 焼	7	2	7	2	1	19
		半 焼	2					2
		部分焼	10		1	2	1	14
		ぼ や	14	1	5	2	1	23
	焼 類	全 焼	1	2	3			6
		半 焼			1			1
		部分焼	3	1	3		1	8
		ぼ や	6		9	1		16
計		43	6	29	7	4	89	
罹 災 世 帯	全 損	1	3	6	1	1	12	
	半 損						0	
	小 損	16	2	7	1	2	28	
	計	17	5	13	2	3	40	
罹 災 人 員	人 員	47	5	45	6	7	110	
	死 者	1	1	1			3	
	負 傷 者	7	1	4		2	14	



月別用途別火災発生状況

令和7年中

用途		月												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物	住宅	2		1	2	1	3	4	3	2	3	3	5	29
	併用住宅													
	共同住宅						1			1	1			3
	劇場													
	公会堂													
	キャバレー													
	遊技場													
	性風俗													
	カラオケボックス													
	料理店													
	飲食店	1				1			1			1	1	5
	物品販売業		1					1						2
	旅館・ホテル													
	病院													
	グループホーム													
	社会福祉施設													
	幼稚園													
	学校						1					2		3
	図書館													
	特殊浴場													
	公衆浴場													
	停車場													
	神社・寺院													
	工場・作業場			2		1					1	1	1	6
	スタジオ													
	駐車場													
航空機・格納庫														
倉庫					1				1				2	
事務所							2						2	
複合用途(特定)					1	1		1		1			4	
複合用途(非特定)														
地下街														
準地下街														
文化財														
その他	2												2	
小計	5	1	3	2	5	6	7	5	5	6	6	7	58	
林野				1						1			2	
車両(自動車)			1		2	1	1	2	1		1		9	
船舶											1		1	
航空機														
その他	4	2	4	7		2	3	3		5	4	1	35	
小計	4	2	5	8	2	3	4	5	1	6	6	1	47	
計	9	3	8	10	7	9	11	10	6	12	12	8	105	



月別原因別火災発生状況

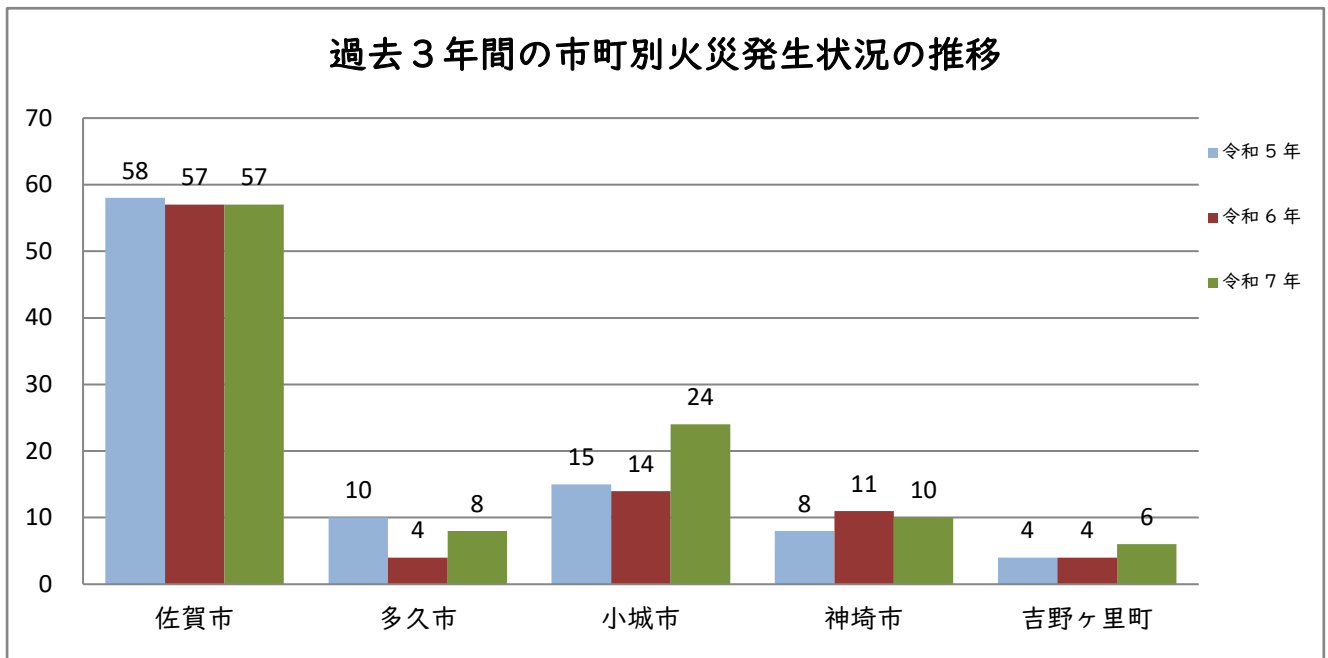
令和7年中

原因 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
たばこ				2				3		2		1	8
こんろ	1			1				1	2	1		1	7
かまど				1									1
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ											1		1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道						1							1
排気管			1		1	1				1	1		5
電気機器				1									1
電気装置											1		1
電灯・電話配線			1			1	1			1			4
内燃機関							1						1
配線器具									1			3	4
火遊び		1								1	2		4
マッチ・ライター													
たき火	2			4		2	1	2		2	1		14
溶接機・切断機												1	1
灯						1							1
衝突の火花					1								1
取													
火入れ	1		1					1		1	2		6
放		1			1								2
放火の疑い			1		1		1	1					4
その他	1	1	4		2	3	3	1	3	2	3	2	25
不明	4			1	1		4	1		1	1		13
計	9	3	8	10	7	9	11	10	6	12	12	8	105

※「その他」には、雷、自然発火及び輻射熱によるものが含まれる。

過去3年間の火災発生状況

年・種別		市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	計
令和5年	火災種別	建物	32	3	9	4	2	50
		林野	4	1				5
		車両	4	1	1	2		8
		船舶						
		航空機						
		その他	18	5	5	2	2	32
		爆発						
計	火災発生件数		58	10	15	8	4	95
	死者の数		3		1			4
令和6年	火災種別	建物	30	1	7	6	2	46
		林野	3		1			4
		車両	5		2	3	1	11
		船舶						
		航空機						
		その他	19	3	4	2	1	29
		爆発						
計	火災発生件数		57	4	14	11	4	90
	死者の数		2		2			4
令和7年	火災種別	建物	33	3	13	6	3	58
		林野	1		1			2
		車両	4		5			9
		船舶	1					1
		航空機						
		その他	18	5	5	4	3	35
		爆発						
計	火災発生件数		57	8	24	10	6	105
	死者の数		1	1	1			3



過去3年の火災原因

年	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
令和 5 年	電灯・ 電話配線	11	たばこ	9	こんろ	8	火入れ	7	排気管	3
電気機器										
電気装置										
マッチ・ ライター										
令和 6 年	火入れ	14	電灯・ 電話配線	7	たき火	5	電気機器	4	ストーブ	3
こんろ			たばこ						放火の疑い	
令和 7 年	たき火	14	たばこ	8	こんろ	7	火入れ	6	排気管	5

※「たき火」、「火入れ」について
 屋外における焼却行為のうち、ゴミや枯草などを一箇所に集めて焼却することを「たき火」、
 地面に生えたままの下草などを焼却すること（野焼き）を「火入れ」として区分している。

II 救急

救急事故の種別

事故種別	摘要
火災事故	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水難事故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労働災害事故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者等の事故（ただし観覧中のものが直接に運動競技用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一般負傷事故	他に分類されない不慮の事故をいう。
加害事故	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自損行為事故	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急病事故	疾病によるもので救急業務として行ったものをいう。
その他	転院搬送、医師、看護師搬送、医療資器材等の輸送、その他のものをいう。

令和7年中の救急出動概要

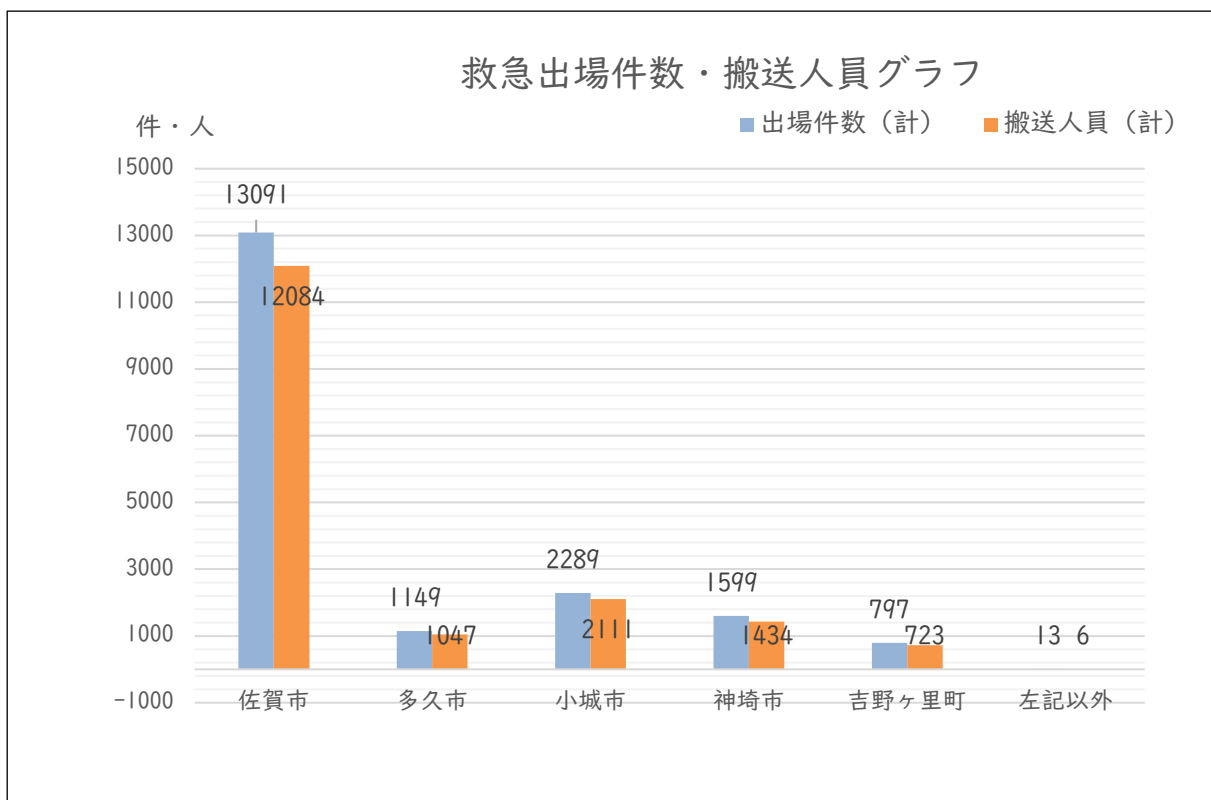
令和7年中における救急出場件数は、18,938件（前年18,692件）、搬送人員は、17,405人（前年17,218人）で、前年に比べ出場件数が246件増、搬送人員は187人増となっています。

事故種別でみると、「急病」が11,189件（59.1%）、次いで「一般負傷」2,744件（14.5%）、「その他（転院搬送）」2,545件（13.4%）、「交通事故」1,204件（6.4%）となっています。

事故種別救急出場件数・搬送人員

令和7年中

市町		佐賀市	多久市	小城市	神埼市	吉野ヶ里町	左記以外	計
種別								
火災	災	45	13	39	9	9	1	116
自然災害		3				1		4
水難		6			4			10
交通		832	66	123	107	68	8	1,204
労働災害		98	11	19	14	8		150
運動競技		125	13	25	14	3	1	181
一般負傷		1,875	165	346	241	117		2,744
加害		39	3	4	3	1		50
自損行為		123	7	12	10	9		161
急病		7,714	675	1,332	994	472	2	11,189
その他	転院	1,850	161	285	156	93		2,545
	医師							0
	資器材							0
	その他	381	35	104	47	16	1	584
出場件数(計)		13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
傷病程度	死	191	23	40	22	15		291
	重	1,198	93	200	136	60		1,687
	中	6,362	545	1,035	785	365	4	9,096
	軽	4,333	386	836	491	283	2	6,331
	その他							0
搬送人員(計)		12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405
不搬送		1,476	30	50	70	34	7	1,667

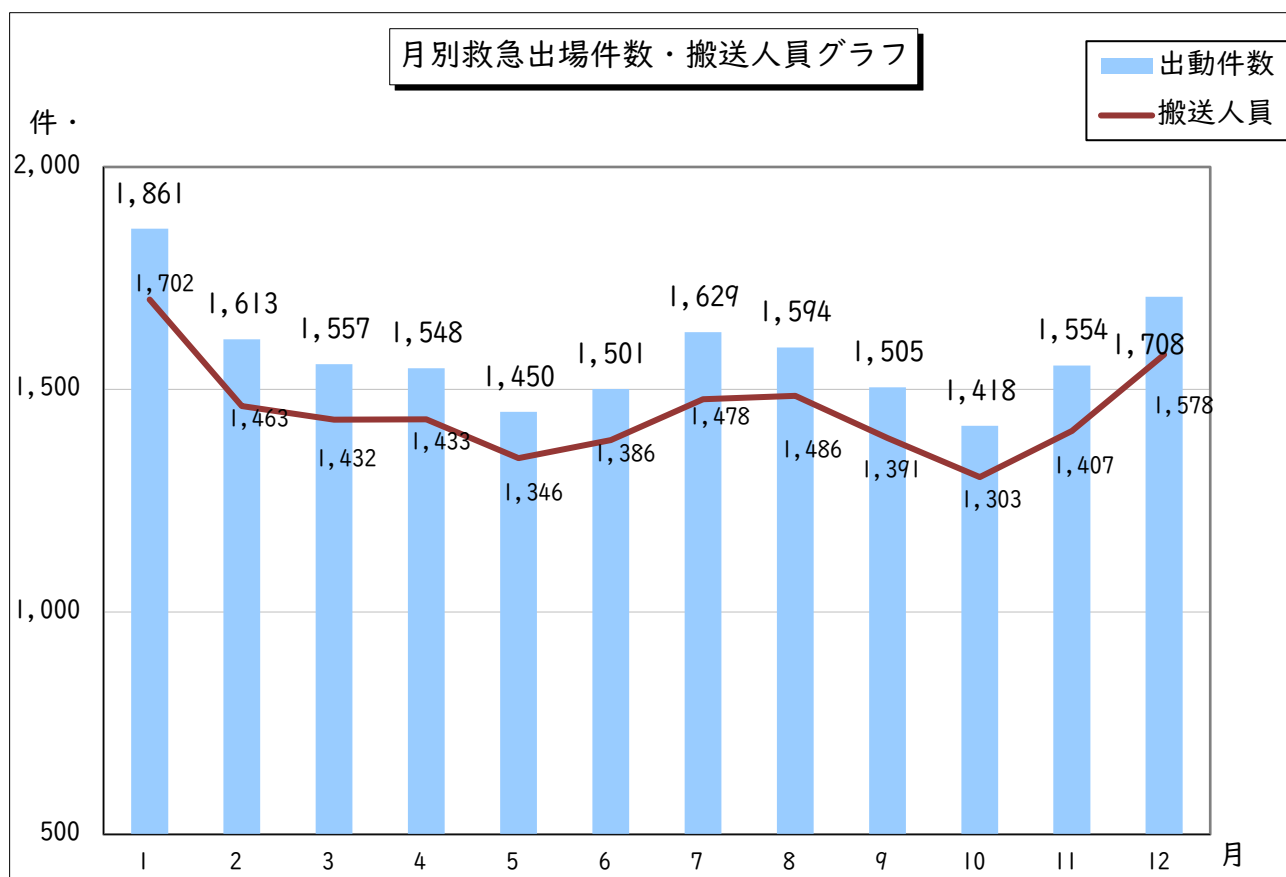


月別救急出場件数・搬送人員

令和7年中

市町 月	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
1月	1,266	106	229	180	80		1,861
	1,163	95	210	159	75		1,702
2月	1,145	86	197	125	59	1	1,613
	1,044	77	179	109	53	1	1,463
3月	1,102	88	184	118	64	1	1,557
	1,009	84	169	111	58	1	1,432
4月	1,054	89	185	150	70		1,548
	975	83	171	142	62		1,433
5月	998	94	172	114	71	1	1,450
	933	81	161	105	65	1	1,346
6月	1,034	84	213	104	64	2	1,501
	954	78	197	95	61	1	1,386
7月	1,129	115	209	119	56	1	1,629
	1,031	103	187	106	51		1,478
8月	1,057	111	200	147	76	3	1,594
	990	100	185	136	74	1	1,486
9月	1,020	95	185	140	65		1,505
	943	91	173	126	58		1,391
10月	970	90	178	121	56	3	1,418
	902	86	168	100	47		1,303
11月	1,109	95	166	122	62		1,554
	1,003	81	154	111	58		1,407
12月	1,207	96	171	159	74	1	1,708
	1,137	88	157	134	61	1	1,578
計	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405

※上段は出場件数、下段は搬送人員を示す。

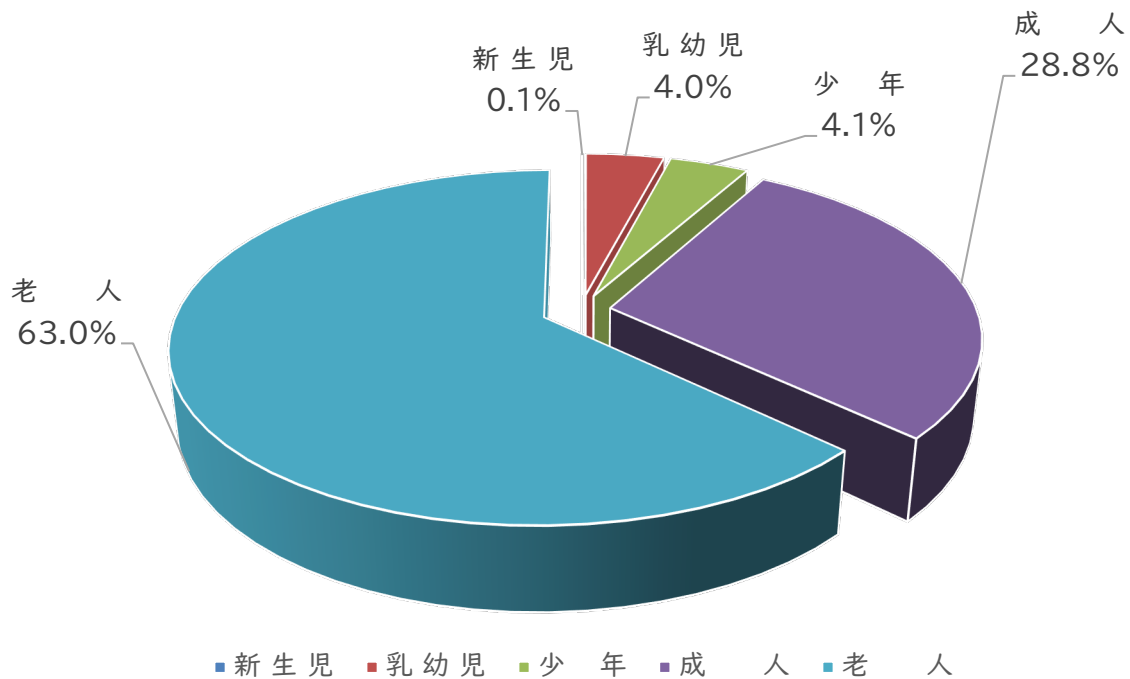


年齢別搬送人員

令和7年中

市 町 年 齡	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
新生児 生後 28日以内	7			2	1		10
乳幼児 29日以上 7歳未満	476	23	107	45	51		702
少年 7歳以上 18歳未満	485	39	96	62	29		711
成人 18歳以上 65歳未満	3,620	255	504	380	246	6	5,011
老人 (65歳以上)	7,496	730	1,404	945	396		10,971
計	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405

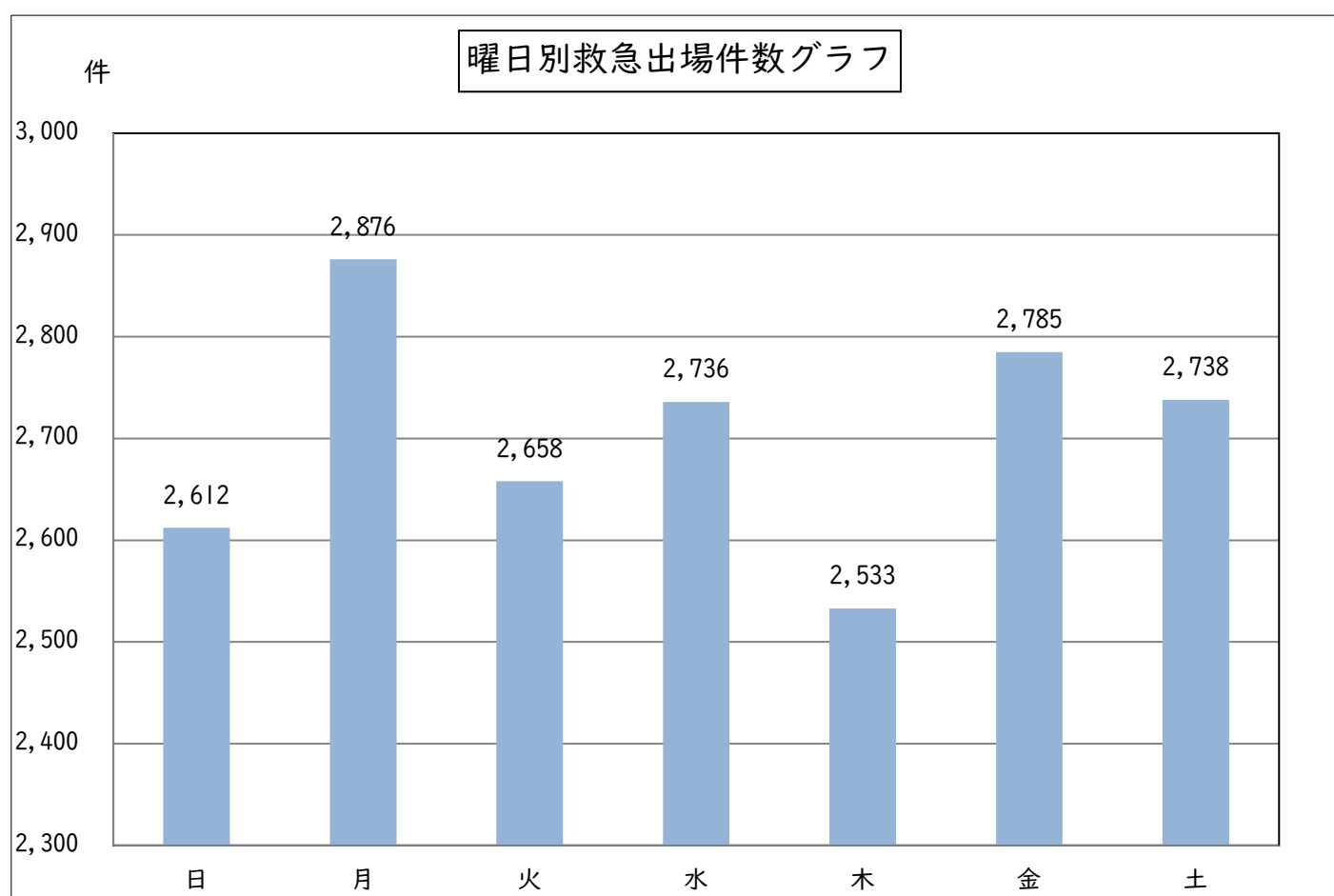
年齢別搬送人員とその割合グラフ



曜日別救急出場件数

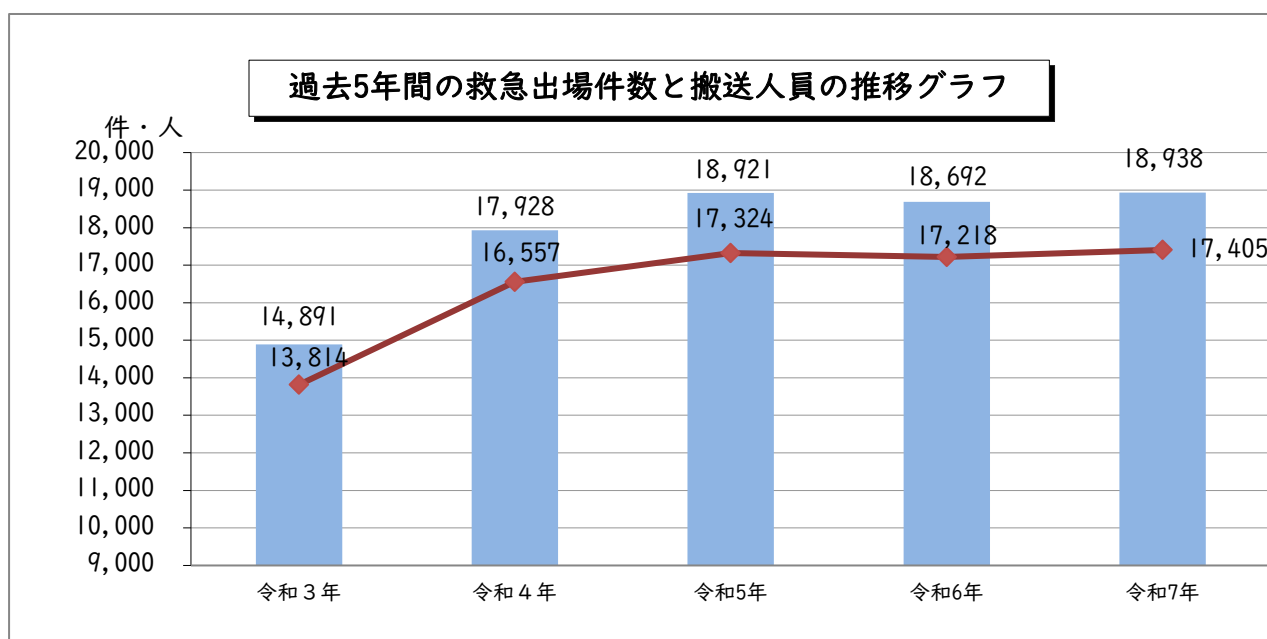
令和7年中

市町 曜日	佐 賀 市	多 久 市	小 城 市	神 埼 市	吉 野 ヶ 里 町	左 記 以 外	計
日	1,802	136	313	239	120	2	2,612
月	1,970	175	385	222	123	1	2,876
火	1,881	178	275	214	105	5	2,658
水	1,881	185	316	245	107	2	2,736
木	1,742	147	323	219	102		2,533
金	1,924	162	333	247	118	1	2,785
土	1,891	166	344	213	122	2	2,738
計	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938



過去3年間の救急出場件数

年・種別		市 町						計
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	
令和5年	火災	62	12	22	12	5	1	114
	自然災害	14		1				15
	水難	5	2	2				9
	交通	907	74	140	120	50	5	1,296
	労働災害	76	12	18	30	8		144
	運動競技	131	6	15	9	4		165
	一般負傷	1,532	159	283	195	63		2,232
	加害	40	2	3	2	3		50
	自損行為	88	5	15	15	5		128
	急病その他	7,803	691	1,468	949	483	5	11,399
計	出場件数	13,199	1,117	2,326	1,522	746	11	18,921
計	搬送人員	12,030	1,022	2,170	1,398	697	7	17,324
令和6年	火災	60	5	19	20	9	4	117
	自然災害	8	1	2	1	1		13
	水難	11		1	2			14
	交通	908	41	139	146	74	42	1,350
	労働災害	86	6	34	24	7		157
	運動競技	149	10	30	8	5		202
	一般負傷	1,630	150	259	186	101	1	2,327
	加害	34	1	6	1	2		44
	自損行為	89	5	20	11	6		131
	急病その他	7,712	663	1,314	985	519	14	11,207
計	出場件数	12,969	1,012	2,214	1,600	834	63	18,692
計	搬送人員	11,953	947	2,072	1,437	771	38	17,218
令和7年	火災	45	13	39	9	9	1	116
	自然災害	3				1		4
	水難	6			4			10
	交通	832	66	123	107	68	8	1,204
	労働災害	98	11	19	14	8		150
	運動競技	125	13	25	14	3	1	181
	一般負傷	1,875	165	346	241	117		2,744
	加害	39	3	4	3	1		50
	自損行為	123	7	12	10	9		161
	急病その他	7,714	675	1,332	994	472	2	11,189
計	出場件数	13,091	1,149	2,289	1,599	797	13	18,938
計	搬送人員	12,084	1,047	2,111	1,434	723	6	17,405



Ⅲ 救助

救助事故の種別

事故種別	摘要
建物火災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建物火災以外	林野、車両、航空機その他の火災において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
風水害等自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機械による事故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建物等による事故	建物、門、柵、塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガス及び酸欠事故	一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
破裂事故	火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。ただし、瞬間的な燃焼現象である混合ガス爆発、ガスの分解燃焼、粉塵爆発などの化学的变化による爆発は、火災として扱う。
その他の事故	前に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。（出動したが誤報、いたずらであった場合も該当する。）

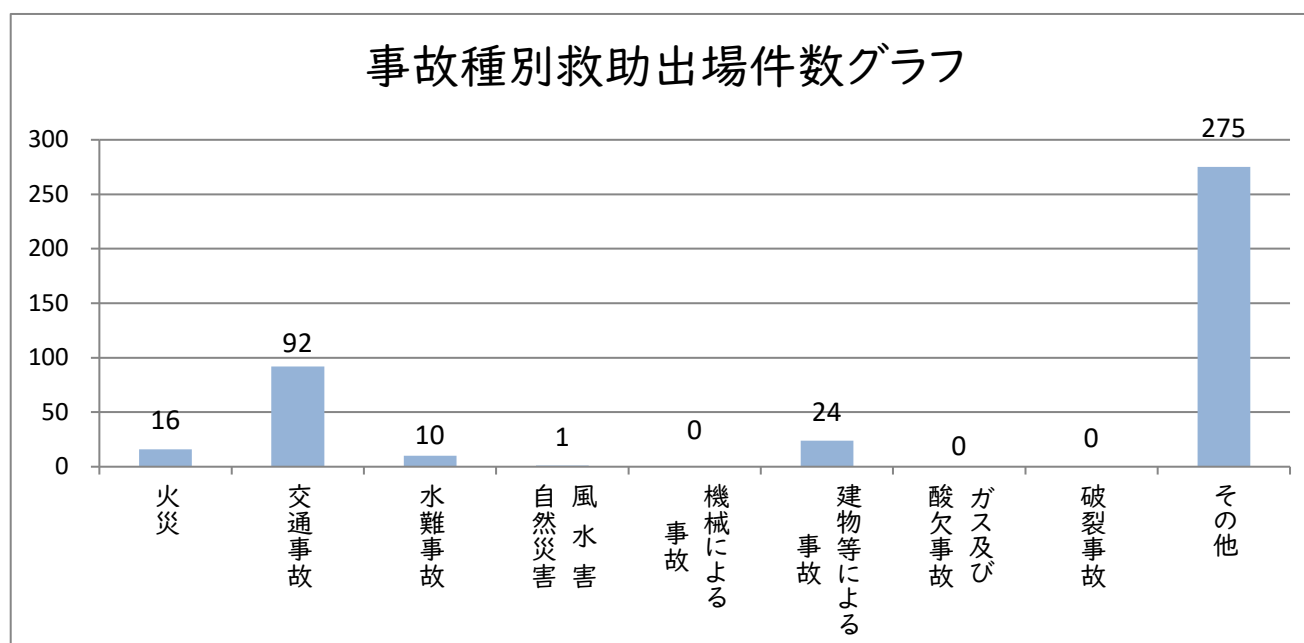
令和7年中の救助出動概要

- 令和7年中の救助出動件数：418件（前年比：+36件）
- 事故種別ごとの内訳
 - ① 「その他の事故」：275件（66%）
 - ② 「交通事故」：92件（22%）
 - ③ 「建物等による事故」：24件（6%）
 - ④ 「建物火災」：16件（4%）
 - ⑤ 「水難事故」：10件（2%）
 - ⑥ 「風水害当自然災害」：1件

市町別事故種別救助出動件数・救助人員

令和7年中

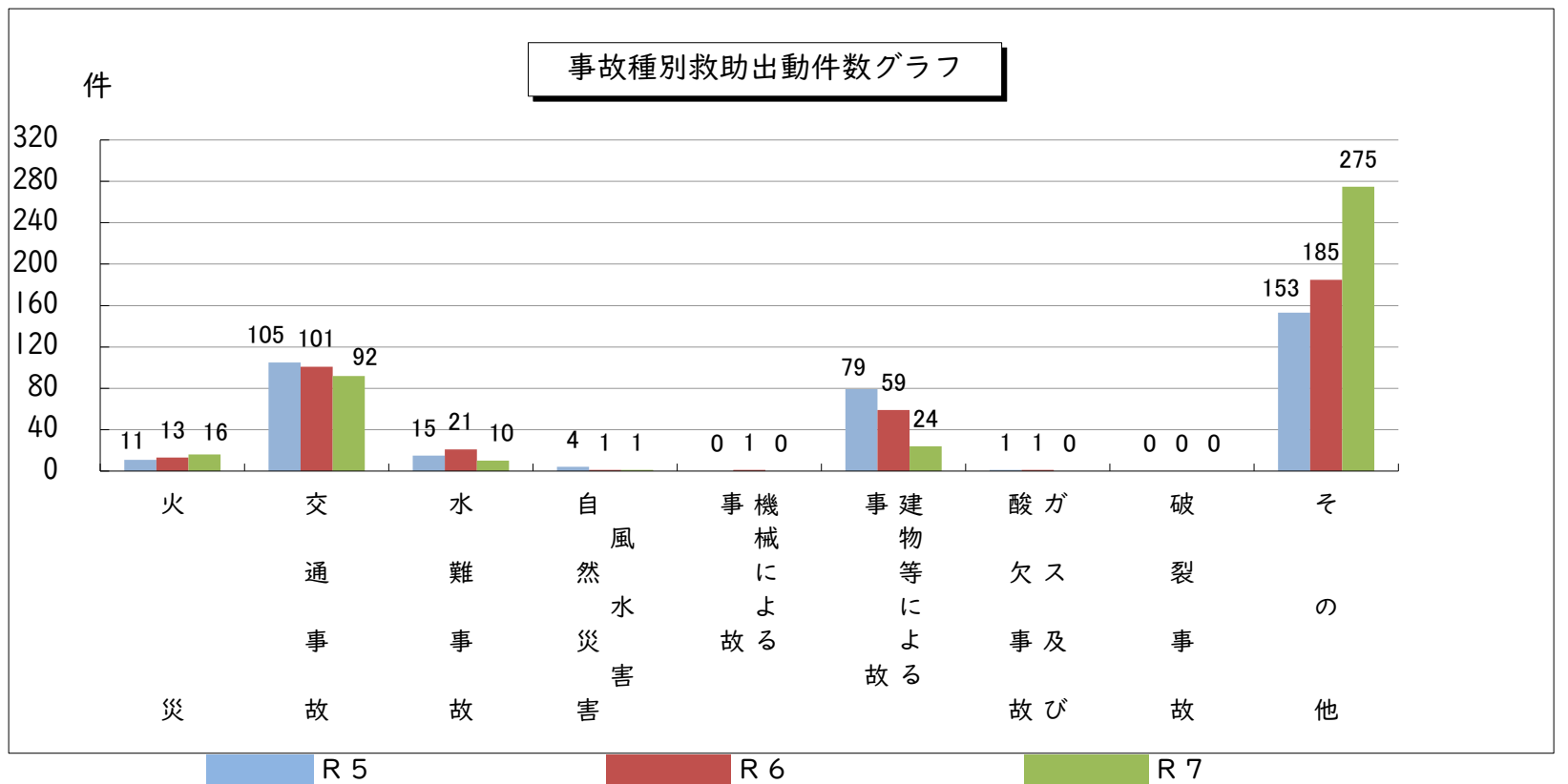
事故種別		市 町						合計
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	
火 災	出動件数	8	1	7				16
	救助人員	1		2				3
交 通 事 故	出動件数	36	10	10	8	7	21	92
	救助人員	21	6	4	4	3	15	53
水 難 事 故	出動件数	9			1			10
	救助人員	3			1			4
風 水 害 自 然 災 害	出動件数	1						1
	救助人員							0
機 械 に よ る 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	16	2	3	2	1		24
	救助人員	10	2	3	1	1		17
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
破 裂 事 故	出動件数							0
	救助人員							0
そ の 他	出動件数	179	24	29	18	12	13	275
	救助人員	82	11	15	10	6		124
合 計	出動件数	249	37	49	29	20	34	418
	救助人員	117	19	24	16	10	15	201



過去3年間の事故種別救助出動件数

年 事故種別		令和5年							令和6年							令和7年							
		佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	合計	
火災	出動件数	5	1	2	2	1		11	8		3	2			13	8	1	7					16
	救助人員	3		1				4	5		2				7	1		2					3
交通事故	出動件数	45	10	22	12	2	14	105	44	4	5	14	11	23	101	36	10	10	8	7	21	92	
	救助人員	29	8	9	7	1	5	59	22	4	1	10	9	3	49	21	6	4	4	3	15	53	
水難事故	出動件数	10	1	2	1	1		15	17		1	3			21	9			1			10	
	救助人員							0	6		1	3			10	3			1			4	
風水害 自然災害	出動件数	3				1		4	1						1	1						1	
	救助人員							0							0							0	
機械による 事故	出動件数							0			1				1							0	
	救助人員							0			1				1							0	
建物等による 事故	出動件数	67		5	6	1		79	45	2	6	6			59	16	2	3	2	1		24	
	救助人員	35		2	3	1		41	30	1	2	4			37	10	2	3	1	1		17	
ガス及び 酸欠事故	出動件数						1	1			1				1							0	
	救助人員						1	1							0							0	
破裂事故	出動件数							0							0							0	
	救助人員							0							0							0	
その他	出動件数	99	11	18	15	5	5	153	107	17	28	17	7	9	185	179	24	29	18	12	13	275	
	救助人員	46	10	12	10	4		82	67	9	14	12	3	1	106	82	11	15	10	6		124	
計	出動件数	229	23	49	36	11	20	368	222	23	45	42	18	32	382	249	37	49	29	20	34	418	
	救助人員	113	18	24	20	6	6	187	130	14	21	29	12	4	210	117	19	24	16	10	15	201	

※ 上段は出動件数、下段は救助人員を示す。



IV 警戒

警戒出動の種別

災害種別	摘要
油漏えい	交通事故等により、ガソリンなどの油類の危険物質が漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
ガス漏えい	都市ガス、プロパンガス、その他の引火性又は有毒性のガスが漏れたことを覚知した場合の出動をいう。
火災警報器等発報	火災等の発生により、火災警報器等が発報したことを覚知した場合の出動をいう。
救急活動支援	救急車出動時の消防隊による活動支援のための出動をいう。
その他	前に掲げるもののほか、次の出動をいう。 <ul style="list-style-type: none"> ・台風、大雨等の自然災害により人命に危険が予想される場合の出動 ・ドクターヘリ等の場外離発着時における危険排除のための出動 ・火災と紛らわしい発煙を覚知した場合の出動

令和7年中の警戒出動概要

- 令和7年中の警戒出動件数：2,637件（前年比：-373件）
 ○災害種別ごとの内訳
- ① 救急活動支援：2,107件（79.90%）
 - ② 火災報知器等発報：233件（8.84%）
 - ③ その他：251件（9.52%）
 - ④ 油漏えい：42件（1.59%）

事故種別警戒出動状況

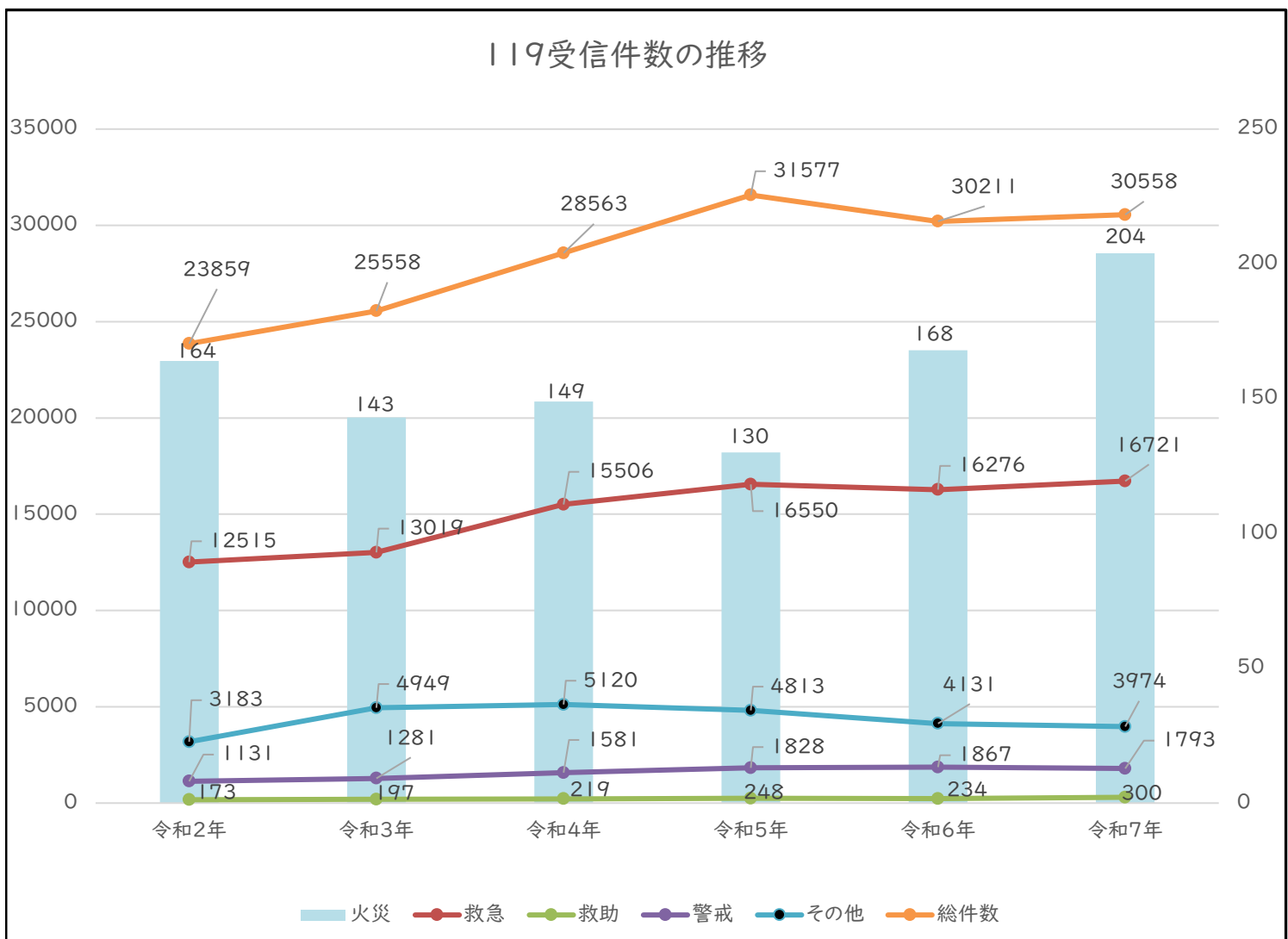
令和7年中

事故種別 \ 市町	佐賀市	多久市	小城市	神崎市	吉野ヶ里町	左記以外	計
油漏えい	26	3	5	5	3		42
ガス漏えい	2		1	1			4
火災警報器等発報	176	13	20	15	9		233
救急活動支援	1,518	157	216	141	75		2,107
その他	137	24	36	40	12	2	251
計	1,859	197	278	202	99	2	2,637

令和7年中

月種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計(回)	比率
火災	20	2	14	20	31	14	17	18	8	16	28	16	204	0.7%
救急	1,621	1,400	1,365	1,368	1,289	1,340	1,450	1,427	1,343	1,267	1,363	1,488	16,721	54.7%
救助	25	39	27	24	21	28	30	20	14	14	23	35	300	1.0%
警戒	216	179	156	151	136	139	117	126	137	99	164	173	1,793	5.9%
テスト・訓練	243	352	406	204	353	354	249	222	291	381	424	388	3,867	12.7%
間違い・悪戯	201	168	160	145	156	168	149	187	180	169	172	212	2,067	6.8%
各種問合せ	199	140	150	114	97	115	137	150	127	122	143	138	1,632	5.3%
その他	290	293	367	348	312	365	350	334	332	341	313	329	3,974	13.0%
計(回)	2,815	2,573	2,645	2,374	2,395	2,523	2,499	2,484	2,432	2,409	2,630	2,779	30,558	100%

※1 上記件数は、119受信件数であり、災害発件数とは異なります。
 ※2 「その他」には、転送や陳情、重複通報などが含まれます。
 (重複通報:例) 火災など一つの災害で多数の人が119番通報をすること。



指令センターによる口頭指導件数・口頭指導奏功事例

1 口頭指導件数

令和7年中

指導項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
心肺蘇生法	28	31	22	33	22	21	23	10	23	13	33	41	300
止血法	9	11	11	15	8	16	9	9	15	10	9	9	131
気道異物除去法	5	3	3	5	1		2	1	2	2		3	27
指趾切断手当				1			1			1		1	4
熱傷手当	1	1	0	1						2		1	6
その他（固定、観察、気道確保等）		9	4	3	3	6	3	3	3	3	6	9	52
合計	43	55	40	58	34	43	38	23	43	31	48	64	520

※口頭指導とは、災害通報受信時に、消防局が救急現場付近にある者に、電話等により応急手当の協力を要請し、口頭で応急手当の指導を行うことをいう。

2 心肺蘇生法/気道異物除去法における主な奏功事例

令和7年中

事故概要	指導内容
85歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳女性 窒息	気道異物除去法・心肺蘇生法
91歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
5歳男児 心肺停止	心肺蘇生法
41歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳女性 心肺停止	心肺蘇生法
69歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
91歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
84歳男性 心肺停止	心肺蘇生法
54歳女性 心肺停止	心肺蘇生法

※上記の奏功事例は、予後調査において社会復帰が確認された症例である。

施設所在地・連絡先一覧

佐賀広域消防局 〒849-0919 (電話) 0952-30-0111 (代表)
 佐賀市兵庫北三丁目5番1号 (FAX) 0952-31-2119
 (E-mail) sagakoiki@chubu.saga.saga.jp
<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

総務課	(電話) 0952-33-6763
警防課	(電話) 0952-33-6761
予防課	(電話) 0952-33-6765
情報指令課	(電話) 0952-30-0111 (代表)

(火災問い合わせ) 0952-20-7119

(医療機関問い合わせ) 0952-31-8899

佐賀消防署	〒849-0919 佐賀市兵庫北三丁目5番1号	(電話) 0952-33-6771 (庶務課) (電話) 0952-33-6767 (消防課) (電話) 0952-33-6775 (救急課) (電話) 0952-33-6773 (予防指導課) (FAX) 0952-32-1838
西分署	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸1357番地1	(電話) 0952-25-3320 (FAX) 0952-25-4727
東分署	〒840-0012 佐賀市北川副町大字光法1137番地	(電話) 0952-27-1339 (FAX) 0952-27-1379
多久消防署	〒846-0002 多久市北多久町大字小侍22番地1	(電話) 0952-75-2191 (FAX) 0952-75-2696
多久南西出張所	〒846-0031 多久市多久町1776番地30	(電話) 0952-97-7119 (FAX) 0952-97-8119
南部消防署	〒840-2213 佐賀市川副町大字鹿江1152番地1	(電話) 0952-45-6442 (FAX) 0952-45-4930
久保田出張所	〒849-0202 佐賀市久保田町大字久富450番地13	(電話) 0952-68-3248 (FAX) 0952-68-3246
北部消防署	〒840-0211 佐賀市大和町大字東山田2739番地	(電話) 0952-62-3442 (FAX) 0952-62-1926
富士出張所	〒840-0522 佐賀市富士町大字畑瀬68番地30	(電話) 0952-58-2811 (FAX) 0952-58-2812
小城消防署	〒849-0301 小城市牛津町乙柳894番地1	(電話) 0952-66-1541 (FAX) 0952-66-1542
北分署	〒845-0002 小城市小城町畑田2626番地12	(電話) 0952-73-9919 (FAX) 0952-73-9922
神埼消防署	〒842-0006 神崎市神埼町枝ヶ里184番地1	(電話) 0952-52-3291 (FAX) 0952-53-2174
三脊出張所	〒842-0302 佐賀市三瀬村藤原2938番地1	(電話) 0952-56-2009 (FAX) 0952-56-2185
吉野ヶ里出張所	〒842-0102 神埼郡吉野ヶ里町石動2792番地4	(電話) 0952-53-0541 (FAX) 0952-53-0542



令和8年版佐賀広域消防局消防年報
発行/令和8年7月
佐賀広域消防局 総務課 総務係

佐賀広域消防局ホームページ

<https://www.chubu.saga.saga.jp/shobo.html>

佐賀広域消防局Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100088723771017>

佐賀広域消防局YouTubeチャンネル

<http://www.youtube.com/@佐賀広域消防局>

佐賀広域消防局Instagram

https://www.instagram.com/sagakoiki.fd_119/

【ホームページ】



【Facebook】



【YouTube】



【Instagram】

